

消 防 年 報

第 5 0 号



令和 6 年

海部南部消防組合消防本部

は　じ　め　に

- 1　この年報は、令和5年中における海部南部消防組合（弥富市、飛島村）の消防状況を収録したものであり、管内の消防事象を紹介するとともに、今後の消防行政の資料に資することを目的として編集しました。
- 2　この年報は、火災、救急、救助等の統計については歴年をもって収録し、消防現勢等その他のものについては、原則として令和6年4月1日現在をもって収録しました。

目 次

組 合 の 概 要 頁

1. 位置及び地勢	1
2. 構成市村の概要	2
3. 組合のあゆみ	3
4. 消防組合組織図	1 2
5. 消防本部・消防署組織図	1 2
6. 組合三役	1 3
7. 令和5年度歳入歳出最終予算額 及び令和6年度歳入歳出当初予算額	1 5
8. 令和6年度の構成市村消防財政状況	1 6
9. 消防本部事務分掌	1 7
10. 消防署事務分掌	2 0

消 防 現 勢

1. 消防庁舎概要	2 2
2. 現有消防力	2 3
3. 職員採用・退職状況	2 4
4. 職員配置状況	2 6
5. 職員階級別年齢状況	2 7
6. 職員教養実施状況	2 8
7. 職員住居地状況	2 9
8. 職員資格等保有状況	3 0
9. 通信系統図	3 1
10. 無線施設現有状況	3 2
11. 消防車両等現有状況	3 4
12. 機械器具現有状況	3 6
13. 応援協定等締結状況	3 9

予 防 事 務 統 計

1. 防火対象物状況	4 1
2. 用途別建築物同意数状況	4 2
3. 月別建築物同意数状況	4 3
4. 工事別建築物同意数状況	4 4

5. 危険物施設数状況	4 4
6. 危険物製造所等規制事務処理状況	4 5
7. 検査済証交付状況	4 5
8. 危険物関係手数料収入額	4 6
9. 危険物規制対象数状況	4 7
10. 危険物関係各種届出状況	4 8
11. 消防関係各種届出状況	4 9

火 災 統 計

1. 火災件数	5 0
2. 市村別火災状況	5 1
3. 月別出火原因状況	5 2
4. 過去5年間の出火原因ワースト5の推移	5 3
5. 警戒出動状況	5 3
6. 過去10年間の火災の推移	5 4

救 急 ・ 救 助 統 計

1. 救急出動件数	5 5
2. 月別及び市村別救急出動件数	5 6
3. 月別及び市村別搬送人員状況	5 7
4. 年齢区分・性別救急搬送状況	5 8
5. 事故種別救急出動状況	5 8
6. 時間別救急出動状況	5 9
7. 曜日別救急出動状況	5 9
8. 救急隊員が行った応急処置等の状況	6 0
9. 過去10年間の救急出動状況	6 1
10. 救助活動状況	6 1
11. 過去10年間の救助出動件数	6 2
12. 過去10年間の救助人員	6 3
13. 救命講習実施状況	6 4
14. 講習別の実施状況	6 4
15. 緊急消防援助隊出動状況	6 4

気 象 統 計

1. 月別天候状況	6 5
2. 月別湿度状況	6 5
3. 月別気温状況	6 6

4. 月別雨量状況	6 7
5. 月別最大風速状況	6 8
6. 地震発生状況	6 8

消 防 団・消 防 水 利

1. 消防団組織	6 9
2. 消防団現勢	7 1
3. 消防水利	7 2

消 防 一 般

1. 少年消防クラブ	7 3
2. 消防組合年間行事	7 4
3. 訓練指導状況	7 4

令和6年度 防火標語

守りたい
未来があるから
火の用心



海部南部消防組合
公式キャラクター
ナンちゃん

組合の概要

1. 位置及び地勢

当組合は、愛知県の西部に位置し、東経136°46′27″、北緯35°4′51″で、東は名古屋市及び蟹江町、西は木曽川並びに三重県、北は愛西市に接し、南は伊勢湾に面し、昭和48年4月1日に発足した1市（弥富市）1村（飛島村）からなる一部事務組合です。

地勢は、木曽川によって造成された沖積層からなり、海拔0メートル地帯で、東西6.4km、南北15.2km、総面積71.69km²の南北に細長い地形を有している地域です。

昭和34年9月26日、伊勢湾台風による未曾有の大洪水のため多大な人的、物的被害を受けた地域でもあります。

道路、鉄道共に逐次整備され、主要幹線道路として国道1号線及び東名阪自動車道が北部を、国道23号線が南部を横断し、国道155号線が西部を、国道302号線及び名古屋第2環状自動車道が東部を縦断しています。また、臨海部には「名港トリトン」の愛称で親しまれている伊勢湾岸自動車道が、名古屋から延び東名阪自動車道と接続されたことにより、交通の要衝である地域です。鉄道は、管内北部にJR関西本線、名鉄尾西線及び近鉄名古屋線の弥富駅があり、相互に乗換えが容易で、名古屋駅まで約15分と交通の便が良い地域です。

名古屋市に隣接していることもあり、管内北部は鉄道網に関して高層住宅や住宅団地等の住宅地、中部は田園地帯、南部は港湾の関係でコンテナ埠頭の一大物流基地が増設され、名古屋港の貿易の拠点となっております。さらには航空宇宙産業、木材、鉄鋼、造船等に関連した工業地帯が形成されています。

以上、管内は多種多様な地域が混在しています。



2. 構成市村の概要

令和6年4月1日現在

項目 区分 市村名	人 口		世 帯 数		面 積	
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比
弥 富 市	人 43,581	% 90.3	世帯 18,907	% 91.1	k m ² 49.26	% 68.7
飛 島 村	4,683	9.7	1,841	8.9	22.43	31.3
合 計	48,264	100.0	20,748	100.0	71.69	100.0

注) 人口は、住民基本台帳に基づく人口の合計

注) 面積は、国土交通省国土地理院調べ



3. 組合のあゆみ

昭和48年	4月	1日	十四山村、飛島村、弥富町の1町2村で海部南部消防組合を設立 消防本部を設置、救急業務のみを開始 初代管理者 大木利之 就任（消防長兼任） 仮事務所を弥富町役場内に置く 指揮車（無線付） 1台（弥富ライオンズクラブから寄贈） 救急車（無線付） 1台 III-B型
昭和48年	4月12日		消防署庁舎用地取得 10,396㎡ 海部郡飛島村大字大宝新田字サノ割555-6番地
昭和48年	9月	1日	消防署を設置 消防業務を開始 初代消防署長 伊藤一男 就任 普通消防ポンプ自動車（無線付） 1台配備 小型動力ポンプ 1台配備
昭和48年	11月	1日	水槽付消防ポンプ自動車（無線付） 1台配備
昭和48年	12月17日		消防庁舎竣工 鉄筋コンクリート造3階建 延床面積 1,502㎡ 海部郡飛島村大字大宝新田字サノ割555-6番地 救急指令装置B型設置
昭和48年	12月20日		新庁舎へ移転し業務開始 弥富町役場の仮事務所閉鎖
昭和49年	2月23日		消防庁舎竣工式
昭和49年	3月	1日	救急車（無線付） 1台配備 III-B型 連絡車（無線付） 1台配備
昭和49年	4月	1日	海部南部危険物安全協会結成
昭和49年	10月24日		広報車（無線付） 1台（宇佐美鋤油店から寄贈）
昭和50年	4月	1日	海部南部消防連絡協議会結成 二代目管理者 立松義勝 就任（消防長兼任）
昭和50年	4月22日		普通消防ポンプ自動車 1台（日本損害保険協会から寄贈）
昭和51年	3月12日		各町村消防団本部車両（消防ポンプ自動車）無線機配備
昭和51年	7月14日		飛島村東浜三丁目2～5番地の区域が石油コンビナート等特別 防災区域に指定（名古屋港臨海地区）
昭和52年	4月	1日	三代目管理者 佐藤 博 就任（消防長兼任）
昭和52年	4月12日		消防本部庁舎3階に機械器具展示室設置腕用ポンプ、手引き動力 ポンプ、消火器等（管内地区、防災関係業者から寄贈）
昭和52年	9月17日		船外機付舟艇 1艇配備 連絡車 更新
昭和54年	2月	7日	バスケット付大型高所放水車（無線付） 1台配備
昭和54年	4月	1日	消防力充実のため総合計画を樹立 四代目管理者 大木利之 就任（消防長兼任）
昭和54年	4月28日		五代目管理者 加藤鋭男 就任（消防長兼任）

昭和55年	2月	8日	大型化学車（無線付）	1台	配備
昭和55年	9月	8日	大型車両配備に伴い車庫及び倉庫を増設 鉄骨造2階建 262m ²		
昭和55年	12月	19日	泡原液搬送車（無線付）	1台	配備
昭和56年	2月	24日	北分署庁舎用地取得 5,055m ² 海部郡弥富町大字鎌倉123番地		
昭和56年	4月	1日	六代目管理者 大橋オ一 就任（消防長兼任）		
昭和56年	12月	15日	北分署庁舎竣工 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 753m ² 北分署業務開始 普通消防ポンプ自動車、救急車、広報車、 各1台配備 分署長以下15名の職員		
昭和57年	5月	31日	広報車（無線付）	1台	本署に配備
昭和57年	11月	13日	水槽付消防ポンプ自動車（無線付） 本署 1台更新 分署 1台配備		
昭和58年	1月	18日	救急車（無線付） 1台 II-B型 北分署に配備 （日本自動車工業会から寄贈）		
昭和58年	4月	1日	総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立 七代目管理者 佐藤 博 就任（消防長兼任） 北分署4名増員		
昭和58年	6月	23日	本署 指令車（無線付）	1台	更新
昭和58年	6月	25日	本署庁舎改修工事を施行		
昭和58年	9月	1日	訓練人形（レサシアン） 1体（弥富ライオンズクラブから寄贈）		
昭和58年	12月	20日	本署 車庫増築 鉄骨造	51m ²	
昭和59年	3月	30日	本署 救急車（無線付）	1台	更新 III-B型
昭和59年	4月	1日	北分署4名増員		
昭和59年	6月	8日	査察車（無線付） 1台本署に配備 （海部南部危険物安全協会から寄贈）		
昭和59年	8月	15日	船外機付舟艇 1艇北分署に配備		
昭和59年	10月	24日	北分署 広報車（無線付）	1台	本署に配備
昭和60年	1月	1日	八代目消防長（常勤専任） 伊藤一男 就任（消防署長兼任）		
昭和60年	4月	1日	九代目消防長 都築 勇 就任 二代目消防署長 加藤敏男 就任		
昭和60年	10月	22日	本署 普通消防ポンプ自動車（無線付） 1台更新 （日本損害保険協会から寄贈）		
昭和60年	11月	1日	土地改良事業により本換地完了につき住所更正 海部郡飛島村大宝五丁目182番地		
昭和61年	4月	1日	消防計画10ヶ年計画樹立 上記計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立		
昭和61年	11月	1日	仮称南部出張所業務開始 海部郡飛島村木場二丁目3番地		

昭和62年	2月26日	救助工作車（無線付）	1台本署に配備
昭和63年	4月1日	南出張所業務開始	
		救急車（無線付）	1台 II-B型 南出張所に配備
昭和63年	6月2日	北分署 出動灯設置	（弥富ライオンズクラブから寄贈）
昭和63年	8月19日	第17回全国消防救助技術大会（横浜市）	出場
		はしご登はん	小椋正巳
昭和63年	8月30日	本署 出動灯・投光器設置	
昭和63年	9月22日	高所放水車	オーバーホール
昭和63年12月	12月15日	本署 連絡車（無線付）	更新
平成元年	4月1日	三代目消防署長 青木善盛	就任
		総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立	
平成元年	9月27日	資機材搬送車（無線付）	1台本署に配備
平成2年	3月20日	北分署 普通消防ポンプ自動車（無線付）	1台更新
平成2年	8月24日	第19回全国消防救助技術大会（広島市）	出場
		はしご登はん	八木雄司
平成3年	1月21日	船外機付舟艇	1艇本署に配備
平成3年	1月31日	消防庁舎増改築	
		鉄骨造3階建	床面積84㎡
平成4年	2月19日	消防緊急通信指令施設II型（旧指令装置B型）	を更新
平成4年	3月4日	本署 水槽付消防ポンプ自動車（無線付）	1台配備
平成4年	3月19日	緊急通報システム（高齢者在宅福祉事業）	センターを設置
平成4年	4月1日	海部南部消防組合規約改正に伴い副管理者制を導入	
		総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立	
平成5年	1月1日	完全週休二日制を実施	
平成5年	1月6日	本署 指揮車（無線付）	1台配備
平成5年	1月8日	海部南部消防組合発足20周年記念式典を実施	
		海部南部消防組合発足20周年記念誌を発行	
平成5年	1月28日	県道の拡幅により土地売却	（売却面積790㎡）
平成5年	2月9日	北分署 広報塔を設置	（弥富ライオンズクラブから寄贈）
平成5年	8月20日	第21回全国消防救助技術大会（福岡市）	出場
		はしご登はん	八木雄司、立松健一
平成6年	3月10日	北分署 救急車（無線付）	更新 II-B型
平成6年	3月18日	本署 訓練場を拡張	4,129㎡
		交替制勤務者の三部制を実施	
平成6年	5月24日	査察車（無線付）	1台本署に配備
		（海部南部危険物安全協会から寄贈）	
平成6年11月	11月18日	救急救命士誕生	
平成7年	1月17日	阪神・淡路大震災	
		消火隊（2隊）	6名派遣
平成7年	2月28日	高規格救急車（無線付）	1台本署に配備
平成7年	3月30日	本署 査察車（無線付）	更新

平成 7 年	4 月	1 日	四代目消防署長 山田幸雄 就任 愛知県海部事務所へ実務研修生として 1 名派遣 (平成 8 年 3 月 31 日まで)
平成 7 年	12 月	20 日	高所放水車 2 回目のオーバーホール
平成 8 年	2 月	29 日	北分署 広報車 (無線付) 更新
平成 8 年	3 月	15 日	南出張所庁舎増改築 鉄骨造 2 階建 延床面積 224m ²
平成 8 年	4 月	1 日	南出張所業務開始 水槽付消防ポンプ自動車、救急車、査察車、各 1 台配備 出張所長以下 10 名の職員 総合計画に基づく消防力整備計画 (平成 8 年度から平成 17 年度まで) を樹立
平成 8 年	4 月	1 日	愛知県消防学校へ教官として 1 名派遣 (平成 10 年 3 月 31 日まで)
平成 8 年	11 月	26 日	小型動力ポンプ 1 台本署に配備
平成 8 年	12 月	16 日	小型動力ポンプ 北分署及び南出張所に 1 台配備
平成 9 年	2 月	6 日	小型動力ポンプ付水槽車 (無線付) 1 台本署に配備 泡原液搬送車 本署から北分署へ配置替
平成 9 年	4 月	1 日	総合計画に基づく 3 ヶ年実施計画を樹立 愛知県消防協会へ実務研修生として職員 1 名派遣 (平成 11 年 3 月 31 日まで)
平成 9 年	8 月	22 日	第 26 回全国消防救助技術大会 (千葉市) 出場 ロープブリッジ渡過 細木健治
平成 10 年	1 月	9 日	北分署庁舎改修工事
平成 10 年	1 月	16 日	高規格救急車 (無線付) 1 台分署に配備
平成 10 年	3 月	8 日	資機材搬送車 1 台本署に配備 (弥富ライオンズクラブから寄贈)
平成 10 年	4 月	1 日	職員相互人事交流を開始 (海部東部消防組合)
平成 10 年	8 月	28 日	第 27 回全国消防救助技術大会 (大阪市) 出場 ロープブリッジ渡過 細木健治 ロープブリッジ救出 瀬古公春、吉田政登、岡田憲和、馬場貴浩
平成 10 年	9 月	28 日	本署 連絡車 更新
平成 10 年	11 月	25 日	本署 梯子等収納庫増設
平成 10 年	12 月	18 日	消防緊急通信指令施設をオーバーホール
平成 11 年	2 月	22 日	本署 水槽付消防ポンプ自動車 (無線付) 更新
平成 11 年	3 月	4 日	南出張所 査察車 (無線付) 更新 (十四山村から寄贈)
平成 11 年	4 月	1 日	五代目消防署長 平野 豊 就任 職員相互人事交流を実施 (海部東部消防組合、蟹江町)
平成 11 年	8 月	19 日	第 28 回全国消防救助技術大会 (横浜市) 出場 ロープブリッジ救出 瀬古公春、吉田政登、岡田憲和、馬場貴浩
平成 12 年	2 月	10 日	北分署 水槽付消防ポンプ自動車 (無線付) 更新 ((社) 日本損害保険協会より寄贈)
平成 12 年	2 月	29 日	本署 消防ポンプ自動車 (無線付) 更新

平成12年	4月	1日	十代目消防長 平野 豊 就任 六代目消防署長 佐藤 武 就任 愛知県消防防災課へ実務研修生として職員1名派遣 (平成13年3月31日まで) 職員相互人事交流を実施(津島市、蟹江町、海部東部消防組合) 総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立
平成12年	12月	19日	資機材搬送車(無線付) 更新
平成13年	4月	1日	十一代目消防長 佐藤 武 就任 七代目消防署長 加藤寛一 就任 職員相互人事交流を実施(津島市、蟹江町、海部東部消防組合) 当直課長制を実施
平成13年	8月	8日	第30回全国消防救助技術大会(東京都) 出場 はしご登はん 佐藤弘光
平成13年	12月	19日	本署 高所放水車(無線付) 更新
平成14年	4月	1日	職員相互人事交流を実施(津島市、蟹江町、海部東部消防組合) 愛知県消防防災航空隊へ職員1名派遣(2年間)
平成14年	8月	23日	第31回全国消防救助技術大会(名古屋市) 出場 はしご登はん 佐藤弘光 ロープブリッジ渡過 飯田祐治
平成14年	9月	1日	名古屋市消防局へ職員1名派遣(平成16年3月まで)
平成14年	12月	25日	本署 大型化学車(無線付) 更新
平成15年	4月	1日	職員相互人事交流を実施(津島市、蟹江町、海部東部消防組合) 北分署3名増員 総合計画に基づく3ヶ年実施計画を樹立
平成15年	8月	28日	第32回全国消防救助技術大会(仙台市) 出場 ロープブリッジ救出 早川昌範、馬場貴浩、内山誠司、志水泰則 ロープブリッジ渡過 飯田祐治
平成16年	1月	22日	北分署 消防ポンプ自動車(無線付) 更新
平成16年	2月	23日	南出張所 高規格救急車(無線付) 更新
平成16年	3月	15日	本署庁舎耐震改修等工事完了
平成16年	3月	15日	本署訓練塔建設工事完了
平成16年	4月	1日	職員相互人事交流を実施(蟹江町、海部東部消防組合、海部西部広域事務組合)
平成16年	4月	1日	十二代目消防長 佐藤英之 就任 八代目消防署長 加藤万典 就任 潜水隊 運用開始
平成16年	6月	1日	連絡2号車 1台本署に配備 (海部南部危険物安全協会から寄贈)
平成16年	7月	18日	福井豪雨 緊急消防援助隊愛知県隊(救助隊) 5名派遣
平成16年	12月	25日	本署車庫等屋上防水工事

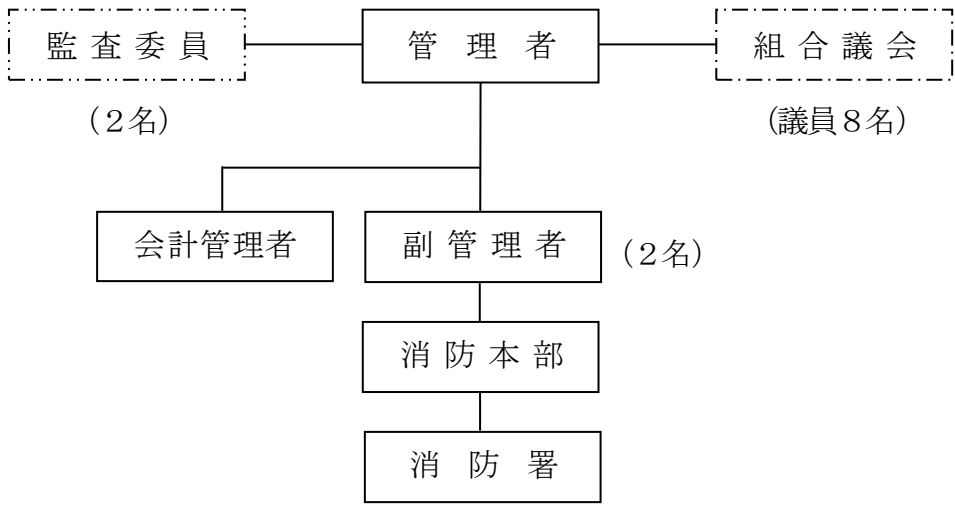
平成17年	1月21日	本署 泡原液搬送車（無線付）更新
平成17年	2月 8日	本署 救助工作車（無線付）更新
平成17年	3月 1日	2005年日本国際博覧会における消防広域応援 職員1名派遣 （平成17年9月30日まで）
平成17年	10月19日	本署 泡原液タンク据付工事完了
平成17年	8月25日	第34回全国消防救助技術大会（さいたま市）出場 障害突破 鈴木範夫、木全貞能、鈴木基寛、関山浩、佐藤洋平
平成17年	10月 5日	北分署 広報車（無線付）更新
平成17年	10月14日	本署 指揮車（無線付）更新
平成18年	3月17日	本署 通信指令台改修工事完了
平成18年	4月 1日	弥富町と十四山村とが合併し、弥富市となる。 十三代目消防長 加藤万典 就任 九代目消防署長 三浦恒男 就任 総合計画に基づく消防力整備計画 （平成18年度から平成27年度まで）を樹立
平成18年	12月22日	高度救助用資機材 本署に整備
平成19年	3月26日	本署 高規格救急車（無線付）更新
平成19年	4月 1日	十四代目消防長 前田盛夫 就任 愛知県防災局消防保安課へ実務研修生として職員1名派遣 （平成20年3月31日まで）
平成19年	6月27日	緊急通報システム（高齢者在宅福祉事業）センター設備更新
平成19年	11月 6日	南出張所 消防ポンプ自動車（無線付）更新
平成20年	1月25日	北分署 高規格救急車（無線付）更新
平成20年	7月15日	高所放水車のオーバーホール
平成20年	8月 1日	IP・携帯発信位置情報通知システム 導入
平成20年	12月25日	本署 査察車（無線付）更新
平成22年	4月 1日	十五代目消防長 伊藤種雄 就任 十代目消防署長 山口 実 就任 愛知県消防学校へ教官として1名派遣（平成24年3月31日まで）
平成22年	5月17日	ドクターカー運用開始（海南病院）
平成22年	8月 9日	第39回全国消防救助技術大会（京都市）出場 ロープブリッジ救出 鈴木大輔、山田哲也、水野泰宏、白神英伸
平成22年	11月11日	海部南部消防組合消防署北分署仮眠室個室化及び変電設備設置等工事完了
平成23年	2月14日	海部地方消防指令センターの設置及び運用に関する覚書の締結
平成23年	3月11日	東日本大震災 緊急消防援助隊愛知県隊（消火隊）37名派遣
平成23年	4月 1日	十六代目消防長 中山憲治 就任 十一代目消防署長 大隅一弘 就任
平成23年	7月29日	北分署 水難救助用ゴムボート 配備
平成23年	11月11日	本署 連絡車 更新

平成24年	3月21日	本署 査察1号車 (無線付) 更新
平成24年	3月27日	南出張所 高規格救急車 (無線付) 更新
平成24年	8月 7日	第41回全国消防救助技術大会 (東京都) 出場 障害突破 横井裕樹、水谷真康、中山良太、幅 翔平、飯田大輔
平成25年	2月 4日	海部地方消防通信指令事務協議会の設置に関する協議書の締結
平成25年	3月28日	海部地方消防指令センター開所式 (弥富市十四山スポーツセンター)
平成25年	4月 1日	海部地方消防通信指令事務協議会設置 海部地方消防指令センター運用開始 (弥富市役所十四山支所2階) 海部地方消防通信指令事務協議会へ職員5名派遣 愛知県消防防災航空隊へ職員1名派遣 (3年間)
平成26年	2月 1日	本署、北分署 水槽付消防ポンプ自動車 (無線付) 更新
平成26年	3月 4日	南出張所 水難救助用舟艇 配備
平成26年	3月28日	本署 救助訓練用施設の組立及び据付工事完了
平成26年	4月25日	高所放水車のオーバーホール
平成26年	4月28日	本署 津波・大規模風水害対策車 配備 (総務省消防庁無償貸与)
平成26年	6月 2日	本署 連絡3号車 配備 (海部南部危険物安全協会から寄贈)
平成26年	7月23日	南出張所 資機材搬送車 配備 (有限会社佐藤石油店から寄贈)
平成26年	9月27日	御嶽山噴火災害 緊急消防援助隊愛知県隊 (救助隊) 10名派遣
平成27年	2月12日	本署 高規格救急車 (無線付) 更新
平成27年	4月 1日	十七代目消防長 伊藤亨 就任 十二代目消防署長 小椋正巳 就任 消防救急デジタル無線運用開始 愛知県防災局消防保安課へ実務研修生として1名派遣 (平成28年3月31日まで)
平成27年	7月 1日	救急救命士 処置範囲拡大開始
平成27年	8月18日	北分署 電動油圧救助器具 配備
平成27年	9月 9日	北分署非常用発電設備取替及び車庫屋上等防水改修工事
平成27年	11月18日	北分署庁舎周りアスファルト舗装改修工事
平成27年	12月24日	署活動波携帯無線機運用開始
平成28年	12月 5日	本署 水槽付消防ポンプ自動車 配備 (旧 飛島村消防団車両)
平成29年	2月28日	公共施設等総合管理計画 策定
平成29年	2月21日	北分署 高規格救急車 更新
平成29年	5月10日	無人航空機 (ドローン) 配備
平成29年	6月13日	本署 連絡4号車 配備
平成29年	7月12日	南出張所耐震等改修工事
平成29年	12月 4日	本署 水難救助用ウレタンボート 配備

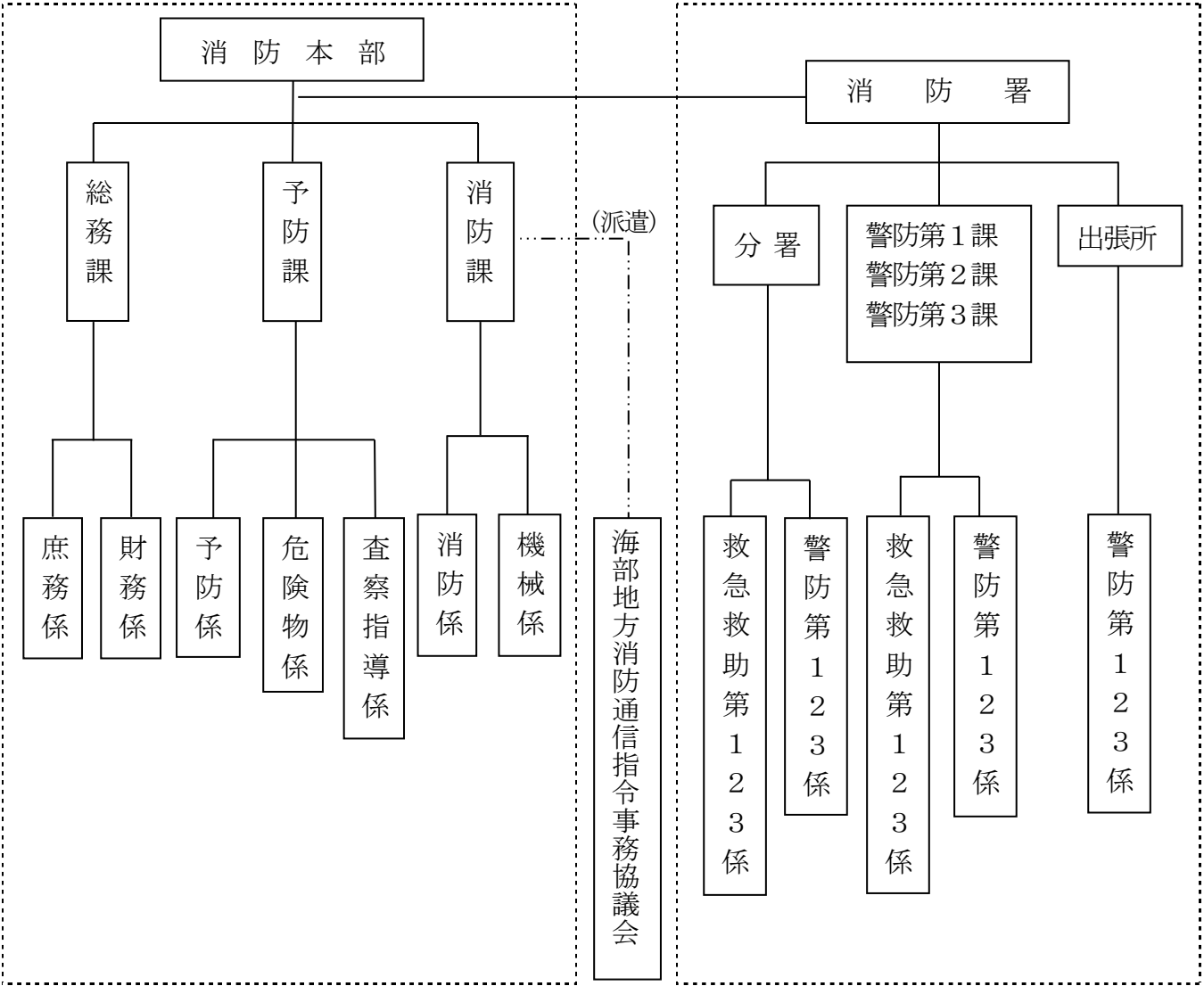
平成30年	4月	1日	名古屋市救急救命研修所へ実務研修生として1名派遣 (平成31年3月31日まで) 総合計画に基づく消防力整備計画 (平成30度から平成39年度まで)を樹立
平成30年	5月	1日	北分署下水排水設備改修工事
平成30年	7月	2日	消防指令システム部分更新
平成30年	7月	6日	平成30年7月豪雨 緊急消防援助隊愛知県隊(救助隊)10名派遣
平成30年	10月	17日	現場映像中継システム 運用開始
平成31年	4月	1日	十八代目消防長 都築浩朗 就任 感染症患者等の移送に関する協定 締結 (愛知県津島保健所)
平成31年	4月	1日	愛知県消防学校へ教官として1名派遣(令和3年3月31日まで)
令和 元年	8月	25日	第48回全国消防救助技術大会(岡山市) 出場 ロープブリッジ救出 桑原大地、日高慎也、上田和紀、佐藤海帆
令和 元年	12月	23日	浸水時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定 締結 (名港海運株式会社)
令和 元年	12月	26日	南出張所 高規格救急車 更新
令和 2年	3月	24日	指揮車 更新
令和 2年	4月	1日	十三代目消防署長 伊藤 禎 就任
令和 2年	4月	1日	高所放水車 オーバーホール
令和 2年	4月	17日	消防活動における重機等による支援に関する協定 締結 (海南土建株式会社、株式会社佐藤工務店、株式会社中島水道、 大栄建設株式会社、有限会社黒宮造園)
令和 2年	12月	1日	Net119 緊急通報システム 運用開始
令和 3年	2月	26日	救助工作車 更新
令和 3年	2月	28日	消防救急デジタル無線システム部分更新
令和 3年	4月	1日	十四代目消防署長 山森基示 就任
令和 3年	7月	10日	令和3年7月静岡県熱海市土石流災害 緊急消防援助隊愛知県隊(救助隊)15名派遣
令和 3年	7月	15日	本署 連絡2号車 更新
令和 3年	12月	24日	南出張所 屋上防水改修工事
令和 4年	2月	7日	北分署 消防ポンプ自動車 更新
令和 4年	4月	1日	十九代目消防長 山森基示 就任 十五代目消防署長 桧山正志 就任 愛知県における航空機を用いた市町村等の消防支援協定 締結 (愛知県) 愛知県防災安全局消防保安課へ実務研修生として1名派遣 弥富市役所防災課へ実務研修生として1名派遣 飛島村役場総務課へ実務研修生として1名派遣

令和 4年	8月26日	第50回全国消防救助技術大会（東京都）出場 ロープブリッジ救出 上田和紀、佐藤海帆、押村純平、郡 良成
令和 5年	2月17日	本署 高規格救急車 更新
令和 5年	3月 1日	南出張所 消防ポンプ自動車 更新
令和 5年	4月 1日	二十代目消防長 佐藤克行 就任 愛知県消防協会へ実務研修生として1名派遣 浸水時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定締結 （DH弥富開発特定目的会社）
令和 5年	5月 8日	海部南部消防組合新庁舎建設工事着工
令和 5年	5月26日	病院救急車及びドクターカーの運用に関する協定 （公益財団法人名古屋海員掖済会 名古屋掖済会病院）
令和 5年	7月 7日	海部南部消防組合発足50周年デジタル記念誌を発行
令和 5年	8月25日	第51回全国消防救助技術大会（札幌市）出場 障害突破 横井大樹、山田幸正、山田敦也、水谷太軌、伊藤 平
令和 6年	1月 1日	令和6年能登半島地震 緊急消防援助隊愛知県隊（消火隊・救助隊）40名派遣
令和 6年	3月 8日	北分署 広報車 更新
令和 6年	4月 1日	二十一代目消防長 瀬古公春 就任 十六代目消防署長 伊藤静男 就任 日本消防協会へ実務研修生として1名派遣 名古屋市防災指令センターへ1名派遣

4. 消防組合組織図



5. 消防本部・消防署組織図



6. 組合三役

歴代管理者

歴代助役及び副管理者

S48. 4. 1～S50. 3. 31	大 木 利 之	十 四 山 村 長	S48. 4. 2～S50. 2. 20	青 木 良 雄	弥 富 町 助 役
S50. 4. 1～S52. 3. 31	立 松 義 勝	飛 島 村 長	S50. 4. 2～S52. 4. 1	村 井 正 幸	弥 富 町 助 役
S52. 4. 1～S54. 3. 31	佐 藤 博	弥 富 町 長	S52. 4. 5～S54. 3. 31	佐 野 峰 夫	十 四 山 村 助 役
S54. 4. 1～S54. 4. 27	大 木 利 之	十 四 山 村 長	S54. 4. 2～S56. 4. 1	村 井 正 幸	弥 富 町 助 役
S54. 4. 28～S56. 3. 31	加 藤 鋭 男	十 四 山 村 長	S56. 4. 3～S58. 4. 2	佐 野 峰 夫	十 四 山 村 助 役
S56. 4. 1～S58. 3. 31	大 橋 才 一	飛 島 村 長	S58. 4. 4～S60. 4. 3	青 木 侃	飛 島 村 助 役
S58. 4. 1～S60. 3. 31	佐 藤 博	弥 富 町 長	S60. 4. 4～S62. 4. 3	服 部 義 治	弥 富 町 助 役
S60. 4. 1～S62. 3. 31	加 藤 鋭 男	十 四 山 村 長	S62. 4. 4～H 1. 4. 3	佐 野 峰 夫	十 四 山 村 助 役
S62. 4. 1～S63. 3. 8	大 橋 才 一	飛 島 村 長	H 1. 4. 4～H 3. 4. 3	青 木 侃	飛 島 村 助 役
S63. 4. 11～H 1. 3. 31	佐 野 鳩	飛 島 村 長	H 3. 4. 4～H 3. 9. 11	安 藤 義 男	弥 富 町 助 役
H 1. 4. 1～H 3. 2. 3	佐 藤 博	弥 富 町 長	H 4. 4. 1～H 7. 3. 31	川 瀬 輝 夫	弥 富 町 長
H 3. 2. 4～H 3. 3. 31	川 瀬 輝 夫	弥 富 町 長	H 4. 4. 1～H 5. 3. 31	佐 野 鳩	飛 島 村 長
H 3. 4. 1～H 5. 3. 31	加 藤 鋭 男	十 四 山 村 長	H 4. 4. 1～H 5. 3. 31	佐 野 峰 夫	十 四 山 村 助 役
H 5. 4. 1～H 7. 3. 31	佐 野 鳩	飛 島 村 長	H 5. 4. 1～H 5. 6. 1	青 木 侃	飛 島 村 助 役
H 7. 4. 1～H 9. 3. 31	川 瀬 輝 夫	弥 富 町 長	H 5. 4. 1～H 7. 4. 27	加 藤 鋭 男	十 四 山 村 長
H 9. 4. 1～H11. 3. 31	佐 野 峰 夫	十 四 山 村 長	H 5. 7. 1～H 7. 3. 31	阿 部 剛	飛 島 村 助 役
H11. 4. 1～H12. 4. 9	佐 野 鳩	飛 島 村 長	H 7. 4. 28～H 9. 3. 31	佐 野 峰 夫	十 四 山 村 長
H12. 4. 10～H13. 3. 31	久 野 時 男	飛 島 村 長	H 7. 4. 1～H11. 3. 31	佐 野 鳩	飛 島 村 長
H13. 4. 1～H15. 3. 31	川 瀬 輝 夫	弥 富 町 長	H 7. 4. 1～H 9. 3. 31	宇 佐 美 章	弥 富 町 助 役
H15. 4. 1～H17. 3. 31	佐 野 峰 夫	十 四 山 村 長	H 9. 4. 1～H13. 3. 31	川 瀬 輝 夫	弥 富 町 長
H17. 4. 1～H19. 3. 31	久 野 時 男	飛 島 村 長	H 9. 4. 1～H11. 3. 31	伊 藤 康 明	十 四 山 村 助 役
H19. 4. 1～H21. 3. 31	服 部 彰 文	弥 富 市 長	H11. 4. 1～H15. 3. 31	佐 野 峰 夫	十 四 山 村 長
H21. 4. 1～H23. 3. 31	久 野 時 男	飛 島 村 長	H11. 4. 1～H13. 3. 31	阿 部 剛	飛 島 村 助 役
H23. 4. 1～H25. 3. 31	服 部 彰 文	弥 富 市 長	H13. 4. 1～H15. 3. 31	加 藤 恒 夫	弥 富 町 助 役
H25. 4. 1～H27. 3. 31	久 野 時 男	飛 島 村 長	H13. 4. 1～H17. 3. 31	久 野 時 男	飛 島 村 長
H27. 4. 1～H29. 3. 31	服 部 彰 文	弥 富 市 長	H15. 4. 1～H15. 6. 30	舘 泰 督	十 四 山 村 助 役
H29. 4. 1～H31. 3. 31	久 野 時 男	飛 島 村 長	H15. 4. 1～H18. 3. 31	川 瀬 輝 夫	弥 富 町 長
H31. 4. 1～R 3. 3. 31	安 藤 正 明	弥 富 市 長	H17. 4. 1～H18. 3. 31	佐 野 峰 夫	十 四 山 村 長
R 3. 4. 1～R 5. 3. 31	加 藤 光 彦	飛 島 村 長	H17. 4. 1～H17. 6. 30	尾 串 孝	飛 島 村 助 役
R 5. 4. 1～現在に至る	安 藤 正 明	弥 富 市 長	H17. 7. 1～H19. 3. 31	立 松 定 昭	飛 島 村 助 役
			H18. 4. 1～H19. 2. 3	川 瀬 輝 夫	弥 富 市 長
			H19. 2. 4～H19. 3. 31	服 部 彰 文	弥 富 市 長
			H19. 4. 1～H21. 3. 31	久 野 時 男	飛 島 村 長
			H19. 4. 1～H21. 3. 31	加 藤 恒 夫	弥 富 市 副 市 長
			H21. 4. 1～H21. 6. 30	立 松 定 昭	飛 島 村 副 村 長
			H21. 4. 1～H23. 3. 31	服 部 彰 文	弥 富 市 長
			H21. 7. 1～H23. 3. 31	服 部 高 幹	飛 島 村 副 村 長
			H23. 4. 1～H25. 3. 31	大 木 博 雄	弥 富 市 副 市 長
			H23. 4. 1～H25. 3. 31	久 野 時 男	飛 島 村 長
			H25. 4. 1～H27. 3. 31	服 部 高 幹	飛 島 村 副 村 長
			H25. 4. 1～H27. 3. 31	服 部 彰 文	弥 富 市 長

歴代管理者

歴代助役及び副管理者

			H27. 4. 1～H29. 3. 31	大 木 博 雄	弥 富 市 副 市 長
			H27. 4. 1～H29. 3. 31	久 野 時 男	飛 島 村 長
			H29. 4. 1～H30. 9. 30	服 部 彰 文	弥 富 市 長
			H29. 4. 1～H29. 6. 30	服 部 高 幹	飛 島 村 副 村 長
			H29. 7. 1～H31. 3. 31	早 川 忠 孝	飛 島 村 副 村 長
			H30. 10. 1～H31. 3. 31	安 藤 正 明	弥 富 市 長
			H31. 4. 1～R 2. 4. 9	久 野 時 男	飛 島 村 長
			H31. 4. 1～R 2. 3. 31	大 木 博 雄	弥 富 市 副 市 長
			R 2. 4. 10～R 3. 3. 31	加 藤 光 彦	飛 島 村 長
			R 2. 4. 1～R 3. 3. 31	村 瀬 美 樹	弥 富 市 副 市 長
			R 3. 4. 1～R 5. 3. 31	安 藤 正 明	弥 富 市 長
			R 3. 4. 1～R 3. 6. 30	早 川 忠 孝	飛 島 村 副 村 長
			R 3. 7. 1～R 5. 3. 31	佐 野 徹	飛 島 村 副 村 長
			R 5. 4. 1～現在に至る	加 藤 光 彦	飛 島 村 長
			R 5. 4. 1～現在に至る	村 瀬 美 樹	弥 富 市 副 市 長

歴代会計管理者

歴代収入役

H19. 4. 1～H21. 3. 31	渡 辺 良 和	飛島村会計管理者	S48. 4. 1～S49. 12. 31	佐 野 峰 夫	十四山村収入役
H21. 4. 1～H23. 3. 31	村 上 勝 美	弥富市会計管理者	S50. 1. 6～S50. 3. 31	伊 藤 康 明	十四山村収入役
H23. 4. 1～H25. 3. 31	渡 辺 良 和	飛島村会計管理者	S50. 4. 2～S52. 4. 1	佐 藤 敏 計	飛 島 村 収 入 役
H25. 4. 1～H26. 3. 31	渡 辺 安 彦	弥富市会計管理者	S52. 4. 5～S54. 4. 1	服 部 義 治	弥 富 町 収 入 役
H26. 4. 1～H27. 3. 31	服 部 誠	弥富市会計管理者	S54. 4. 2～S56. 4. 1	伊 藤 康 明	十四山村収入役
H27. 4. 1～H29. 3. 31	貝 沼 朗 史	飛島村会計管理者	S56. 4. 3～S58. 4. 2	佐 藤 敏 計	飛 島 村 収 入 役
H29. 4. 1～H30. 3. 31	山 守 修	弥富市会計管理者	S58. 4. 4～S60. 4. 3	安 藤 義 男	弥 富 町 収 入 役
H30. 4. 1～H31. 3. 31	山 田 淳	弥富市会計管理者	S60. 4. 4～S62. 4. 3	伊 藤 康 明	十四山村収入役
H31. 4. 1～R 2. 3. 31	中 島 利 文	飛島村会計管理者	S62. 4. 4～S62. 6. 30	佐 藤 敏 計	飛 島 村 収 入 役
R 2. 4. 1～R 3. 3. 31	中 野 晃	飛島村会計管理者	S62. 7. 1～H 1. 4. 3	阿 部 剛	飛 島 村 収 入 役
R 3. 4. 1～R 4. 3. 31	伊 藤 え い 子	弥富市会計管理者	H 1. 4. 4～H 2. 3. 13	安 藤 義 男	弥 富 町 収 入 役
R 4. 4. 1～R 5. 3. 31	小笠原己喜雄	弥富市会計管理者	H 2. 4. 2～H 3. 4. 3	黒 田 幸 雄	弥 富 町 収 入 役
R 5. 4. 1～R 6. 3. 31	成 田 雅 恵	飛島村会計管理者	H 3. 4. 2～H 5. 3. 31	伊 藤 康 明	十四山村収入役
R 6. 4. 1～現在に至る	落 合 律 子	飛島村会計管理者	H 5. 4. 1～H 5. 6. 1	阿 部 剛	飛 島 村 収 入 役
			H 5. 7. 1～H 7. 3. 31	尾 串 孝	飛 島 村 収 入 役
			H 7. 4. 1～H 9. 3. 31	伊 藤 征 治	弥 富 町 収 入 役
			H 9. 4. 1～H11. 3. 31	舘 泰 督	十四山村収入役
			H11. 4. 1～H13. 3. 31	尾 串 孝	飛 島 村 収 入 役
			H13. 4. 1～H15. 3. 31	伊 藤 征 治	弥 富 町 収 入 役
			H15. 4. 1～H15. 6. 30	渡 辺 能 孝	十四山村収入役
			H15. 7. 1～H17. 3. 31	内 海 豊	十四山村収入役
			H17. 4. 1～H17. 6. 30	立 松 定 昭	飛 島 村 収 入 役

※平成 4年4月1日 助役を副管理者に改正

※平成18年1月1日 収入役を廃し、副管理者が収入役事務を兼掌する。

※平成18年4月1日 弥富町と十四山村とが合併し、弥富市となる。

7. 令和5年度歳入歳出最終予算額及び令和6年度歳入歳出当初予算額

(1) 一般会計

○ 歳 入

(単位:千円)

款	項	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
1 分担金及び負担金		942,250	1,061,720
	1 負担金	942,250	1,061,720
2 使用料及び手数料		30,178	30,178
	1 手数料	30,178	30,178
3 国庫支出金		2	2
	1 国庫負担金	1	1
	2 国庫補助金	1	1
4 県支出金		1	1
	1 県補助金	1	1
5 財産収入		18	18
	1 財産運用収入	17	17
	2 財産売却収入	1	1
6 寄附金		1	1
	1 寄附金	1	1
7 繰入金		220,414	415
	1 特別会計繰入金	413	413
	2 基金繰入金	220,001	2
8 繰越金		67,627	40,000
	1 繰越金	67,627	40,000
9 諸収入		8,942	8,941
	1 預金利子	10	10
	2 雑入	8,932	8,931
10 組合債		729,500	1,425,100
	1 組合債	729,500	1,425,100
歳 入 合 計		1,998,933	2,566,376

○ 歳 出

(単位:千円)

款	項	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
1 議会費		458	594
	1 議会費	458	594
2 総務費		1,065,862	1,543,116
	1 総務管理費	1,065,862	1,543,116
3 消防費		930,942	1,013,991
	1 消防費	868,172	939,229
	2 予防費	62,770	74,762
4 公債費		234	6,175
	1 公債費	234	6,175
5 予備費		1,437	2,500
	1 予備費	1,437	2,500
歳 出 合 計		1,998,933	2,566,376

(2) 消防指令センター特別会計

○ 歳 入

(単位:千円)

款	項	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
1 分担金及び負担金		81,840	118,995
	1 負担金	81,840	118,995
2 国庫支出金		1	1
	1 国庫補助金	1	1
3 繰入金		17,763	26,199
	1 一般会計繰入金	17,763	26,199
4 繰越金		1	1
	1 繰越金	1	1
5 諸収入		2	2
	1 預金利子	1	1
	2 雑入	1	1
歳 入 合 計		99,607	145,198

○ 歳 出

(単位:千円)

款	項	令 和 5 年 度	令 和 6 年 度
1 消防指令センター費		94,594	140,185
	1 消防指令センター費	94,594	140,185
2 諸支出金		13	13
	1 一般会計繰出金	2	2
	2 償還金	11	11
3 予備費		5,000	5,000
	1 予備費	5,000	5,000
歳 出 合 計		99,607	145,198

8. 令和6年度の構成市村消防財政状況

(単位:千円)

区 分 市 村	市 村 の 一般会計 予算額 (A)	消 防 費 歳 出 予算額 (B)	消 防 費 に係る 基準財 政需要額	消 防 費 の 占 め る 比 率 (B/A)	組 合 へ の 負 担 金
弥 富 市	17,340,000	836,990	660,300	4.83	723,141
飛 島 村	5,550,000	412,172	156,600	7.43	338,579
計	22,890,000	1,249,162	816,900	5.46	1,061,720

9. 消防本部事務分掌

総 務 課

庶 務 係

- (1) 機密に関すること。
- (2) ほう章及び表彰に関すること。
- (3) 渉外に関すること。
- (4) 職員の服務、進退、賞罰及び身分に関すること。
- (5) 職員の人事及び給与並びに旅費に関すること。
- (6) 公平委員会に関すること。
- (7) 退職給与及び職員の共済に関すること。
- (8) 消防職員委員会に関すること。
- (9) 職員の研修及び教養に関すること。
- (10) 職員の福利厚生及び衛生管理に関すること。
- (11) 公務災害（通勤による災害を含む。）に関すること。
- (12) 公告式に関すること。
- (13) 重要な企画及び総合調整に関すること。
- (14) 条例、規則等の審査に関すること。
- (15) 公印の管守に関すること。
- (16) 文書の収受及び発送に関すること。
- (17) 完結文書の整理保存に関すること。
- (18) 公文書の公開に関すること。
- (19) 情報公開・個人情報保護審査会に関すること。
- (20) 行政不服審査会に関すること。
- (21) 応援協定に関すること。
- (22) 組合議会に関すること。
- (23) 事務引継ぎに関すること。
- (24) 訴訟事件の対応に関すること。
- (25) 事務の近代化に関すること。
- (26) 広報誌に関すること。
- (27) 消防長会に関すること。
- (28) 市町村会に関すること。
- (29) 海部地方消防通信指令事務協議会に関すること。
- (30) 組合構成市村との連絡調整に関すること。
- (31) 課の庶務に関すること。
- (32) 他の課係の所管に属しないこと。

財 務 係

- (1) 組合財政全般の企画及び連絡調整に関すること。
- (2) 予算の編成及び予算統制並びに決算に関すること。
- (3) 支払に関すること。
- (4) 組合債に関すること。
- (5) 一時借入金に関すること。

- (6) 財政事情に関すること。
- (7) 組合財産に関すること。
- (8) 監査委員に関すること。
- (9) 物品の管理及び災害共済に関すること。
- (10) 物品の購入に関すること。
- (11) 貸与品に関すること。
- (12) 基金に関すること。
- (13) 契約に関すること。
- (14) 建築営繕に関すること。
- (15) 庁舎管理に関すること。
- (16) その他財務に関すること。

予 防 課

予 防 係

- (1) 消防同意に関すること。
- (2) 防火対象物の消防用設備等又は特殊消防用設備の設置及び検査等に関すること。
- (3) 防火対象物の査察及び指導に関すること。
- (4) 火災の原因、損害の調査及び報告に関すること。
- (5) 火災予防運動の企画に関すること。
- (6) 火災統計に関すること。
- (7) 建築統計に関すること。
- (8) 火災予防条例に関すること。
- (9) 防火思想の普及計画に関すること。
- (10) 高齢者その他の災害弱者の防災指導に関すること。
- (11) 少年消防クラブに関すること。
- (12) 予防関係資器材の購入及び管理に関すること。
- (13) 分掌事務に係る契約に関すること。
- (14) 課の庶務に関すること。
- (15) その他一般予防に関すること。

危 険 物 係

- (1) 危険物規制に関すること。
- (2) 危険物製造所等の火災の原因、損害の調査及び報告に関すること。
- (3) 危険物製造所等の査察及び指導に関すること。
- (4) 危険物の安全管理に関すること。
- (5) 危険物に係る火災予防条例に関すること。
- (6) 危険物の統計に関すること。
- (7) 圧縮アセチレンガス、液化石油ガスその他の火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある物質に関すること。
- (8) 石油コンビナート等災害防止法（昭和50年法律第84号）に関すること。
- (9) 煙火の消費の許可等に関すること。
- (10) 危険物保安技術協会との連絡調整に関すること。
- (11) その他危険物に係る火災予防に関すること。

査 察 指 導 係

- (1) 防火対象物及び危険物製造所等の査察及び指導の総括に関する事。
- (2) 防火管理者に関する事。
- (3) 防火対象物の消防用設備等又は特殊消防用設備等の維持管理に関する事。
- (4) 防火対象物及び危険物製造所等の違反是正に関する事。
- (5) 火災の原因、損害の調査及び報告の総括に関する事。
- (6) その他査察及び防火指導に関する事。

消 防 課

消 防 係

- (1) 消防業務、救急業務及び救助業務（以下「消防業務等」という。）の企画及び調査に関する事。
- (2) 消防業務等の安全管理に関する事。
- (3) 消防隊、救急隊及び救助隊の運用に関する事。
- (4) 消防訓練、救急訓練及び救助訓練に関する事。
- (5) 消防隊員、救急隊員及び救助隊員の教育及び研修に関する事。
- (6) 消防訓練その他の訓練の指導に関する事。
- (7) 応急手当の普及啓発に関する事。
- (8) 救急及び救助統計に関する事。
- (9) 救急救命士に関する事。
- (10) 消防、救急及び救助に関する被服及び装備品の購入及び貸与並びに管理に関する事。
- (11) 空地及び空家の管理並びに火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為等（催物の開催を除く。）に係る火災予防条例に関する事。
- (12) 分掌事務に係る契約に関する事。
- (13) 本部署所の連絡調整に関する事。
- (14) 消防団との連絡調整に関する事。
- (15) 医療機関その他の救急関係機関との連絡調整に関する事。
- (16) 緊急消防援助隊に関する事。
- (17) 課の庶務に関する事。
- (18) その他消防業務に関する事。

機 械 係

- (1) 自動車及び原動機付自転車（以下「車両」という。）の購入に関する事。
- (2) 消防機械器具、救急機械器具、救助機械器具及び通信機械器具（以下「消防機械器具等」という。）並びに消防業務等に係る物品の購入に関する事。
- (3) 車両及び消防機械器具等の整備保全及び総括管理に関する事。
- (4) 消防機械器具等の取扱技術の指導に関する事。
- (5) 車両の燃料に関する事。
- (6) 分掌事務に係る契約に関する事。
- (7) その他消防機械器具等に関する事。

10. 消防署事務分掌

警防第1課、警防第2課、警防第3課（出張所の各係を除く。）

警 防 係

- （1）警防対策に関すること。
- （2）火災その他の災害の警防及び防ぎよに関すること。
- （3）消防訓練その他の訓練に関すること。
- （4）消防対象物の調査に関すること。
- （5）消防機械器具の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関すること。
- （6）消防車両等及び原動機付自転車の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関すること。
- （7）地理及び消防水利の調査、点検に関すること。
- （8）軽易な火災の原因及び損害の調査に関すること。
- （9）空地及び空家の管理並びに火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為に係る火災予防条例に関すること。
- （10）消防広報に関すること。
- （11）管区務に関すること。
- （12）消防無線等消防通信の企画及び運用に関すること。
- （13）通信機械器具の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関すること。
- （14）警防活動等の支援情報に関すること。
- （15）気象観測業務に関すること。
- （16）緊急通報システムに関すること。
- （17）災害情報の収集及び伝達に関すること。
- （18）通信統計及び気象統計その他の統計に関すること。
- （19）その他消防業務に関すること。
- （20）他係の所管に属さないこと。

救 急 救 助 係

- （1）救急業務及び救助業務に関すること。
- （2）救急訓練及び救助訓練に関すること。
- （3）救急機械器具及び救助機械器具の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関すること。
- （4）救急車両及び救助車両の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関すること（分署の各係にあつては、救助車両の整備保全、点検及び管理に関するものを除く。）。
- （5）応急手当の普及及び指導に関すること。
- （6）救急統計及び救助統計その他の統計に関すること。
- （7）管区務に関すること。
- （8）救急医療情報システムに関すること。
- （9）その他救急業務及び救助業務に関すること。

出張所（警防第1係、警防第2係、警防第3係）

- （1）警防対策に関すること。
- （2）火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- （3）救急業務及び救助業務に関すること。
- （4）消防訓練及び救急訓練並びに救助訓練その他の訓練に関すること。
- （5）消防対象物の調査に関すること。
- （6）消防機械器具及び救急機械器具並びに救助機械器具の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関すること。
- （7）消防車両等及び救急車両並びに原動機付自転車の整備保全、点検及び管理並びに取扱いに関すること。
- （8）地理及び消防水利の調査、点検に関すること。
- （9）軽易な火災の原因及び損害の調査に関すること。
- （10）空地及び空家の管理並びに火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為に係る火災予防条例に関すること。
- （11）応急手当の普及及び指導に関すること。
- （12）消防広報に関すること。
- （13）火災統計及び救急統計並びに救助統計その他の統計に関すること。
- （14）管区務に関すること。
- （15）その他消防業務及び救急業務並びに救助業務に関すること。

消 防 現 勢

1. 消防庁舎概要

(1) 所在地

消防本部 消防署	〒490-1438	愛知県海部郡飛島村大宝五丁目182番地
北分署	〒498-0007	愛知県弥富市鎌倉町123番地
南出張所	〒490-1444	愛知県海部郡飛島村木場二丁目3番地

(2) 敷地

消防本部 消防署	13,734.79 m ²
北分署	5,055.00 m ²
南出張所	500.00 m ² (飛島村からの借地)

(3) 庁舎

名称	建設年月日	構造	延べ面積 (m ²)
本署庁舎	S48.12.17	鉄筋コンクリート造 3階建	1,615.29
本署増築	H3.1.31	鉄骨造 3階建	84.00
別棟倉庫	S55.9.8	鉄骨造 2階建	253.59
別棟車庫	S58.12.20	鉄骨造 平屋建	51.83
梯子等収納庫	H10.11.25	鉄骨造 平屋建	108.54
訓練塔	H16.3.15	鉄骨造 高さ16.62m	65.32
北分署庁舎	S56.12.15	鉄筋コンクリート造 2階建	753.82
北分署訓練塔	S56.12.15	鉄筋コンクリート造 高さ16.0m	
南出張所庁舎	S63.4.1	鉄骨造 2階建	200.00 (飛島村から借用)
南出張所増築	H8.3.15	鉄骨造 2階建	224.68

2. 現有消防力

令和6年4月1日現在

区 分		現 有
指 揮 車		1
消 防 ポンプ自動車		5
非常用消防自動車等（ポンプ車）		1
は し ご 自 動 車		1
化 学 自 動 車		1
3 点 セ ッ ト	大 型 高 所 放 水 車	0
	大 型 化 学 車	0
	泡 原 液 搬 送 車	0
救 助 工 作 車		1
救 急 自 動 車		3
非常用救急自動車		1
特 殊 車 等		4
消 防 艇		0

※ 1 3点セットの設置義務がなくなったことから、現有する大型高所放水車は、消防力の整備指針（平成12年消防庁告示第1号）第7条第3項に基づき、はしご自動車を配置したものとみなす。また、大型化学消防車は、化学消防車として、泡原液搬送車は、水槽車として配置する。

※ 2 消防艇を現有していないのは、応援協定を締結（名古屋市及び名古屋海上保安部）して対応しているため。

令和6年4月1日現在

区 分	現 在
指 揮 隊 員、消 防 隊 員 救 急 隊 員、救 助 隊 員	7 6
通 信 員	3
予 防 要 員	8
庶 務 の 処 理 等 の 人 員	2 1
合 計	1 0 8

3. 職員採用・退職状況

令和5年4月1日現在

区 分 年月日	採用 (人)	退職 (人)	職員数 (人)	区 分 年月日	採用 (人)	退職 (人)	職員数 (人)
昭和48年 4月 1日	26		26	平成 7年 3月31日		1	84
昭和48年 5月 1日	3		29	平成 7年 4月 1日	5		89
昭和48年 9月 1日	5		34	平成 8年 4月 1日	4		93
昭和48年11月 1日	2		36	平成 9年 3月31日		1	92
昭和49年 3月 1日	3		39	平成 9年 4月 1日	4		96
昭和49年 4月 1日	3		42	平成10年 3月31日		1	95
昭和49年11月 1日	3		45	平成10年 4月 1日	4		99
昭和50年 4月 1日	3		48	平成11年 3月31日		4	95
昭和52年 4月 1日	6		54	平成11年 4月 1日	4		99
昭和53年 4月 1日	5		59	平成12年 3月31日		1	98
昭和53年12月31日		1	58	平成12年 4月 1日	1		99
昭和54年 4月 1日	1		59	平成13年 3月31日		1	98
昭和56年 4月 1日	5		64	平成13年 4月 1日	1		99
昭和56年12月 3日		1	63	平成14年 3月31日		1	98
昭和57年 4月 1日	5		68	平成14年 4月 1日	3		101
昭和58年 4月 1日	4		72	平成15年 4月 1日	4		105
昭和59年 4月 1日	5		77	平成16年 3月31日		1	104
昭和60年 3月30日		1	76	平成17年 3月31日		1	103
昭和60年 4月 1日	3		79	平成18年 3月31日		4	99
昭和61年 4月 1日	1		80	平成18年 4月 1日	2		101
昭和61年12月31日		2	78	平成19年 3月31日		2	99
昭和62年 4月 1日	2		80	平成19年 4月 1日	2		101
昭和63年 3月31日		1	79	平成20年 3月31日		2	99
昭和63年 4月 1日	2		81	平成20年 4月 1日	3		102
昭和63年12月31日		1	80	平成20年 4月26日		1	101
平成 元年 3月31日		1	79	平成21年 3月31日		1	100
平成 元年 4月 1日	2		81	平成21年 4月 1日	3		103
平成 元年 8月 7日		1	80	平成21年 7月31日		1	102
平成 2年 4月 1日	2		82	平成22年 3月31日		4	98
平成 3年 4月 1日	1		83	平成22年 4月 1日	3		101
平成 3年 6月 6日		1	82	平成23年 3月31日		4	97
平成 3年 6月30日		1	81	平成23年 4月 1日	4		101
平成 3年12月31日		2	79	平成23年 7月31日		1	100
平成 4年 2月29日		1	78	平成24年 3月31日		2	98
平成 4年 4月 1日	2		80	平成24年 4月 1日	4		102
平成 5年 3月31日		1	79	平成24年 4月30日		1	101
平成 5年 4月 1日	2		81	平成24年 9月30日		1	100
平成 6年 4月 1日	4		85	平成25年 3月31日		2	98

令和5年4月1日現在

[illegible]

4. 職員配置状況

令和6年4月1日現在

		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	
消防本部	消防長		1						1	
	次長			1					1	
	総務課	課長			1				5 (2)	
		主幹								
		補佐			2					
		係長			(2)					
		主任				1				
		係					1			
		予防課	課長			1				8 (5)
			主幹			1				
			補佐			1 (1)	1			
			係長			(1)	(1)			
	主任					2 (1)				
		係					2 (1)			
		消防課	課長			1				5 (1)
			主幹							
			補佐				1			
係長						1 (1)				
主任					1					
	係						1			
	派遣職員	補佐				1			7	
		係長				2				
		主任				1				
		係					3			
消防署	消防署長			(1)					48 (3)	
	副署長			1						
	本署	警防課長		(1)	2					
		主幹			2					
		補佐			2 (1)	6				
		係長				6				
		主任				6				
		係					11	2	10	
		分署	分署長		1					23
			補佐			2	1			
			係長				5			
			主任				4			
	係						1	3	6	
	出張所	出張所長		1						10
		補佐			1	2				
		係長				3				
		主任								
係							1	2		
計		1	4 (2)	16 (5)	44 (3)	18 (1)	6	19	108 (10)	

備考 ・ () は、他の職との兼務数
 ・ 係長には、統括主任を含む。
 ・ 消防課派遣職員の内訳は、海部地方消防通信指令事務協議会へ3名 日本消防協会、名古屋市防災指令センター、弥富市、飛島村へ各1名。

5. 職員階級別年齢状況

令和6年4月1日現在

階 級 年 齢	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
平 均 年 齢	55.0	58.5	53.5	43.1	30.2	26.3	21.9	38.5
～18歳							1	1
19～20歳							3	3
21～22歳							8	8
23～24歳							5	5
25～26歳						4	2	6
27～28歳					7	2		9
29～30歳					3			3
31～32歳					5			5
33～34歳				2				2
35～36歳				8	3			11
37～38歳				3				3
39～40歳				2				2
41～42歳				1				1
43～44歳				8				8
45～46歳			1	6				7
47～48歳			3	6				9
49～50歳			3	4				7
51～52歳				3				3
53～54歳			2	1				3
55～56歳	1							1
57～58歳		2	3					5
59～60歳		2	4					6
61～								0
計	1	4	16	44	18	6	19	108

6. 職員教養実施状況

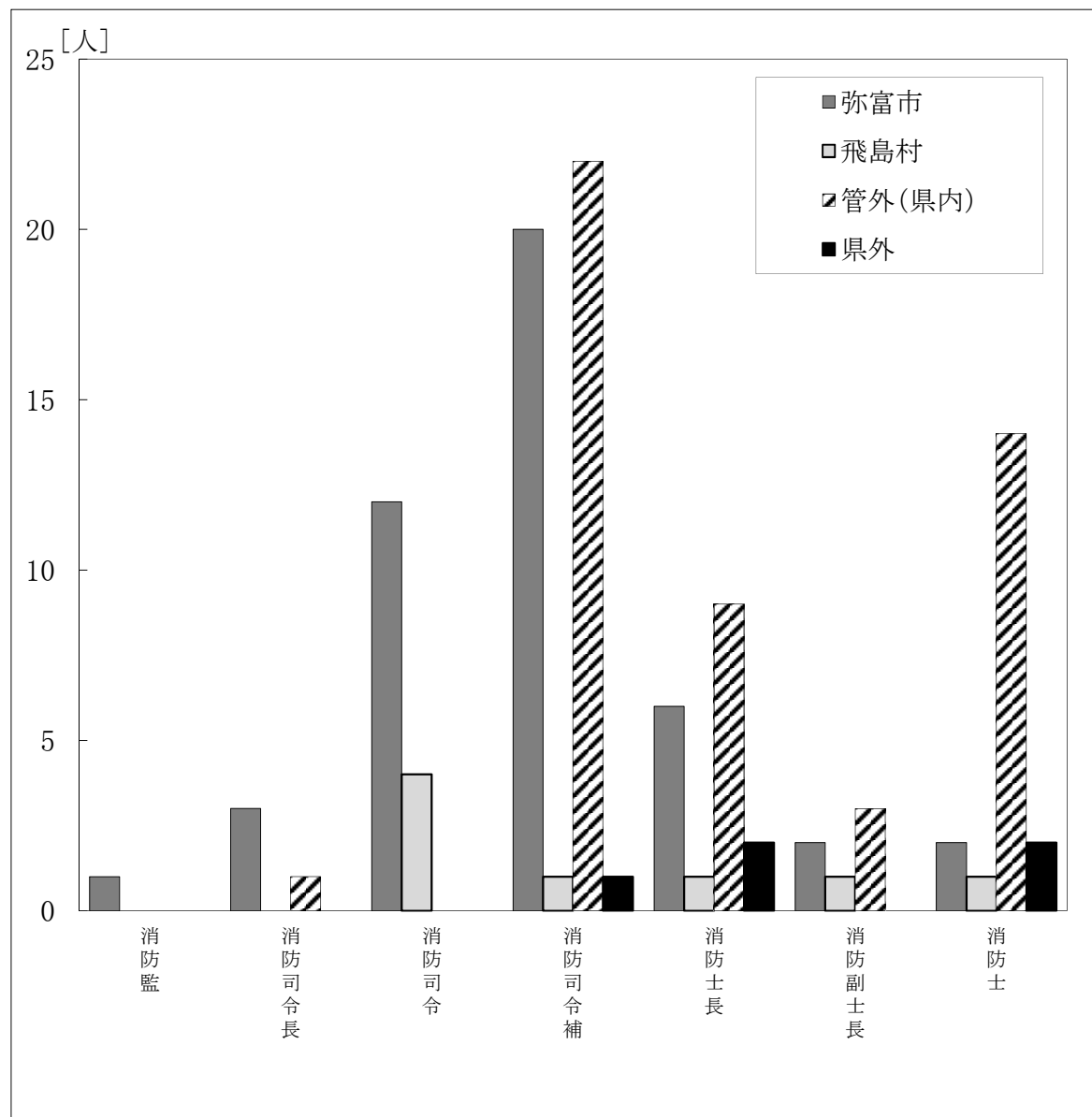
令和6年4月1日現在

機 関 等	階 級 科 目	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
消防大学校	幹部科		1	2					3
	警防科		1		3				4
	予防科			1	1				2
	救助科	1		2	1				4
	救急科				1				1
	新任教官科			1	1				2
	緊援隊教育科（NBC）				1				1
愛知県消防学校	初任科	1	4	16	44	18	6	15	104
	幹部科（初級）		1	4	2				7
	幹部科（中級）		1	3					4
	幹部科（上級）		1						1
	警防科		1	5	11				17
	救急科	1	4	13	36	17	6	8	85
	予防科（予防課程）				1				1
	予防科（予防査察科）		1	2	2	3			8
	予防科（火災調査科）		2	2	4	1	1		10
	予防科（危険物科）		1	2	2	2			7
	地震科・地震防災科		1	7	12	2			22
	救助科	1	2	7	15	4			29
	救助科（水難）				6	1			7
	指導員養成科		1						1
	指揮隊科		1	6	1				8
	特殊災害科			1					1
	はしご自動車等運用科			2	12				14
知多地域	救急Ⅰ課程			2	7				9
	救急Ⅱ課程			4	9				13
救急救命士養成所 （その他の機関を含む。）	救急救命士養成			5	19	2			26
派遣職員	愛知県実務研修生		1	2	1				4
	愛知県消防学校			1	1				2
	愛知県防災ヘリ	1			1				2
	愛知万博				1				1
	愛知県消防協会				1				1
	日本消防協会				1				1
	名古屋市消防局				2				2
	海部地方人事交流			3	1				4
	弥富市・飛島村				1	3			4

7. 職員住居地状況

令和6年4月1日現在

住居地 \ 階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
弥富市	1	3	12	20	6	2	2	46
飛島村			4	1	1	1	1	8
管外(県内)		1		22	9	3	14	49
県外				1	2		2	5
計	1	4	16	44	18	6	19	108

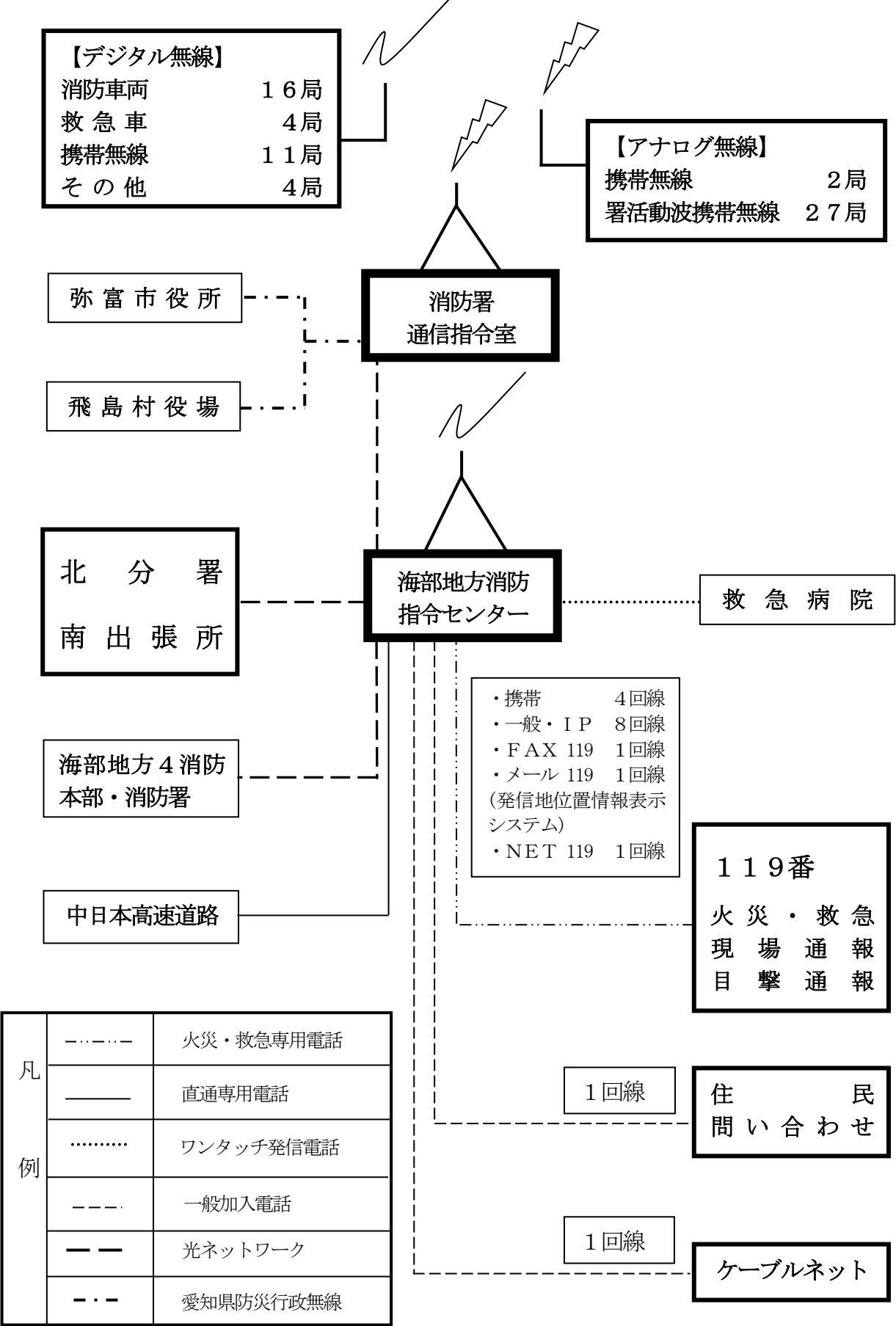


8. 職員資格等保有状況

令和6年4月1日現在

階 級 種 別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
普通自動車運転免許	1	4	16	44	18	6	18	107
大型自動車運転免許	1	3	16	44	17	6	3	90
大型特殊自動車免許			2	2	1			5
けん引自動車免許			1	3				4
自動二輪車免許			4	19	4	3	1	31
小型移動式クレーン	1	4	16	44	11	1		77
玉掛技能講習	1	4	16	44	18	6	15	104
特殊無線技士	1	4	16	44	18	6	15	104
小型船舶操縦士	1	3	6	27	8	4	2	51
潜水士			3	21	5	3	2	34
酸素欠乏・硫化水素 危険作業主任者				7	1			8
足場作業主任				5	1			6
危険物取扱者	1		8	13	4	1		27
消防設備士		1		3		1		5
予防技術資格者		3	4	4	2			13
J P T E C 講習	1		6	32	14	3		56
M C L S 講習			3	9				12
救急救命士			5	20	3		2	30
処置範囲拡大認定救命士			2	20	1			23
薬剤投与認定救命士			4	20	2			26
気管挿管認定救命士			2	12				14
一般毒物劇物取扱者			1	1				2
衛生管理者			1	4		1		6

9. 通 信 系 統 図



10. 無線施設現有状況

【デジタル無線】

種 別	呼 出 名 称	出 力	免許年月日	備 考
基 地 局	あまなんぶしょうぼう	20W	R 1 . 6 . 1	海部地方消防指令センター

種 別		呼 出 名 称	出 力	免許年月日	備 考
本 署	移 動 局	きゅうきゅうあまなんぶ 1	5W	R 1 . 6 . 1	救 急 1 号 車
	〃	きゅうきゅうあまなんぶ 4	5	R 1 . 6 . 1	救 急 4 号 車
	〃	あまなんぶ 1	5	R 1 . 6 . 1	タ ン ク 1 号 車
	〃	〃 4	5	R 1 . 6 . 1	タ ン ク 4 号 車
	〃	〃 6	5	R 1 . 6 . 1	化 学 消 防 車
	〃	〃 3 1	5	R 1 . 6 . 1	は し ご 車
	〃	〃 4 1	5	R 1 . 6 . 1	救 助 工 作 車
	〃	〃 4 3	1 0	R 1 . 6 . 1	津波・大規模風水害対策車
	〃	〃 5 1	5	R 1 . 6 . 1	指 揮 車
	〃	〃 7 2	5	R 1 . 6 . 1	水 槽 車
	〃	〃 7 3	5	R 1 . 6 . 1	資 機 材 搬 送 車
	〃	〃 7 4	5	R 1 . 6 . 1	査 察 1 号 車
	〃	〃 7 5	5	R 1 . 6 . 1	査 察 2 号 車
	携 帯 局	〃 1 0 1～1 0 6	2	R 1 . 6 . 1	
	卓 上 型	〃 2 0 1	5	R 1 . 6 . 1	
	可 搬 型	〃 3 0 1	5	R 1 . 6 . 1	指 揮 車 積 載
北 分 署	移 動 局	きゅうきゅうあまなんぶ 2	5	R 1 . 6 . 1	救 急 2 号 車
	〃	あまなんぶ 2	5	R 1 . 6 . 1	タ ン ク 2 号 車
	〃	〃 5	5	R 1 . 6 . 1	タ ン ク 5 号 車
	〃	〃 7	5	R 1 . 6 . 1	ポ ン プ 1 号 車
	〃	〃 6 1	5	R 1 . 6 . 1	広 報 車
	携 帯 局	〃 1 0 7～1 0 9	2	R 1 . 6 . 1	
	卓 上 型	〃 2 0 2	5	R 1 . 6 . 1	
南 出 張 所	移 動 局	きゅうきゅうあまなんぶ 3	5	R 1 . 6 . 1	救 急 3 号 車
	〃	あまなんぶ 3	5	R 1 . 6 . 1	タ ン ク 3 号 車
	携 帯 局	〃 1 1 0・1 1 1	2	R 1 . 6 . 1	
	卓 上 型	〃 2 0 3	5	R 1 . 6 . 1	

【アナログ無線】

〔署活動波携帯無線〕

種 別	呼 出 名 称	出 力	免 許 年 月 日	備 考
携 帯 局	あまなんぶ 4 0 1 ～ 4 1 5	1 W	R 2 . 6 . 1	本 署 待 機 室
〃	〃 4 2 1 ～ 4 2 8	1	R 2 . 6 . 1	北 分 署 待 機 室
〃	〃 4 3 1 ～ 4 3 4	1	R 2 . 6 . 1	南 出 張 所 待 機 室

〔防災相互通信用無線〕

種 別	呼 出 名 称	出 力	免 許 年 月 日	備 考
携 帯 局	あまなんぶ 1 1 6 ・ 1 1 7	5 W	H 2 8 . 6 . 1	通 信 指 令 室 (津波・大規模風水害対策車)

1 1. 消防車両等現有状況

名 称	登録番号	年式	車 名	所 属	ポンプ	備 考
指 揮 車	名古屋 843 な 119	R2	トヨタ	本 署		ドローン積載
広 報 車	名古屋 843 り 119	R6	日 産	北分署		
査 察 1 号 車	名古屋 840 ひ 119	H24	ホンダ	本 部		ハイブリッド自動車
査 察 2 号 車	名古屋 838 み 119	H20	トヨタ	本 部		ハイブリッド自動車
タンク 1 号車	名古屋 841 な 119	H26	日 野	本 署	A-2	水 2,000 L 圧縮空気泡吐出装置 (C A F S) ホースカー
タンク 2 号車	名古屋 841 に 119	H26	日 野	北分署	A-2	水 2,000 L 圧縮空気泡吐出装置 (C A F S) ホースカー
タンク 3 号車	名古屋 830 せ 3119	R5	日 野	南出張所	A-2	水 3,000 L、放水銃 動力ホースカー (動力昇降装置付)
タンク 4 号車	名古屋 800 そ 4870	H18	日 野	本 署	A-2	水 1,500 L ホースカー
タンク 5 号車	名古屋 838 す 119	H19	日 野	北分署	A-2	水 2,000 L ホースカー、放水銃
ポンプ 1 号車	名古屋 800 ぬ 9182	R4	日 野	北分署	A-2	水 1,300 L 動力ホースカー (動力昇降装置付)
は し ご 車	名古屋 832 り 119	H13	日 野	本 署	A-2	最大高 30m バスケット・水路管付
化 学 車	名古屋 833 め 119	H14	三 菱	本 署	A-1	泡原液 2,000 L 自動比例混合装置
水 槽 車	名古屋 835 ひ 119	H17	日 野	本 署	ギヤー	水 6,000 L
救 助 工 作 車	名古屋 830 に 41	R3	日 野	本 署		電源照明、クレーン、 ウインチ等
津波・大規模 風水害対策車	名古屋 800 ま 3114	H26	日 野	本 署		水陸両用バギー 水難救助資機材

名 称	登録番号	年式	車 名	所 属	ポ ン プ	備 考
水 陸 両 用 バギー	飛島村 0641	H26		本 署		津波・大規模風水害対 策車積載
資 機 材 搬 送 1 号 車	名古屋 832 た 119	H12	日 産	本 署		5.5 トン車 クレーン
資 機 材 搬 送 2 号 車	名古屋 480 て 8735	H26	スズキ	南出張所		
救 急 1 号 車	名古屋 843 め 119	R5	日 産	本 署		高規格救急車 救急資器材一式
救 急 2 号 車	名古屋 842 む 119	H29	トヨタ	北分署		高規格救急車 救急資器材一式
救 急 3 号 車	名古屋 843 つ 119	R1	日 産	南出張所		高規格救急車 救急資器材一式
救 急 4 号 車	名古屋 840 ふ 119	H24	日 産	本 署		高規格救急車 救急資器材一式
連 絡 車	名古屋 338 や 119	H23	トヨタ	本 部		
連 絡 2 号 車	名古屋 480 ほ 1430	R3	スズキ	本 部		
連 絡 3 号 車	名古屋 483 そ 119	H26	三 菱	本 部		
連 絡 4 号 車	名古屋 507 す 4206	H29	トヨタ	本 部		ハイブリッド自動車
原 動 機 付 自 転 車	飛島村	H12	ホンダ	本 署		
	飛島村	H13	ホンダ	本 署		
	飛島村	H14	ホンダ	本 署		
	飛島村	H30	ホンダ	本 署		
	旧 弥富町	H16	ホンダ	北分署		
	旧 弥富町	H16	ホンダ	北分署		

名 称	数 量	所 属	型 式
小型動力ポンプ	1	本 署	トーハツVF63AS B-2
	1	北分署	シバウラSF655 B-3
船 外 機 付 舟 艇	1	本 署	FRP製（船外機ヤマハ） H12. 12. 15
	1	本 署	※ ゴムボート（船外機トーハツ） H26. 4. 28
	1	本 署	※ FRP製・組立式（船外機トーハツ） H26. 4. 28
	1	本 署	ウレタンボート（船外機トーハツ） H29. 8. 8
	1	北分署	アルミ製（船外機ヤマハ） H8. 9. 17
	1	北分署	ゴムボート（船外機トーハツ） H23. 7. 29
	1	南出張所	FRP製・組立式（船外機トーハツ） H26. 3. 4

※ 津波・大規模風水害対策車（総務省消防庁無償貸与車両）積載

12. 機械器具現有状況

消 火 用 特 殊 機 械 器 具 等			
化学車積載泡消火剤 メガフォーム（3％）	1,868 L	泡消火剤（3％）	927 L
		放水銃	3
泡管鎗（ <small>そう</small> 3,000 L型）	2	放水砲	1
エアーフォームノズル 200 型	2	泡ノズルアタッチメント	4
エアーフォームノズル 400 型	2	ラインプロポーショナー	5

救 助 用 資 機 材			
かぎ付はしご	6	ストライカー	4
三連はしご	9	除染シャワー	1 式
空気式救助マット（救助幕）	1	耐電手袋	7
救命索発射銃	1	耐電衣	4
救助用縛帯	15	耐電長靴	4
バスケット型担架	4	可搬式ウインチ	5
油圧カッター（大型含む。）	2	エンジンカッター	4

油圧スプレッダー（大型含む。）	1	ガス溶断機	1
油圧ジャッキ	3	チェーンソー	6
電動油圧コンビツール	1	万能斧（トップマン）	1 9
ラムシリンダー（1°ストライプ）	1	拡声器	1 6
投光器一式	9	バルーン型投光器	1
携帯無線機（デジタル）	1 1	ハンマードリル	5
署活動波携帯無線機（アナログ）	2 7	トランシーバー	2 6
耐熱服	2	マット型空気ジャッキ	1 式
救助用支柱器具	2 式	ルーカスレスキューツール	1 式
応急処置用セット	2	チェーンブロック	2
レスキュープラットホーム	1	送排風機	3
空気呼吸器	4 2	救命浮環	1 8
予備ボンベ（充填用ボンベ）	1 6 4	救命胴衣	1 6 0
空気鋸（電気式含む。）	3 式	水難救助機器一式	5 式
複合ガス検知警報器	1 0	水中無線機	6
放射線測定器	2 4	熱画像直視装置（フリーア）	3
携帯警報器	2 0	平担架	3
陽圧式化学防護服一式	1 0	空気拡張式テント	1 式
放射線防護服一式	2	画像探索機Ⅱ型	1
山岳救助用器具	1 式	残火確認装置（アルゴス）	1
都市型救助資器材	1 式	地震警報器	1
ワンタッチテント	2	夜間用暗視装置	1
無人航空機ドローン	1	車両移動器具	1 式

救急処置用資器材等			
バックボード	1 3 式	酸素加湿器	8
自動体外式除細動器	1 7 式	酸素加湿器ボンベ（10 L）	2 4
自動心臓マッサージシステム	3 式	酸素ボンベ（2 L）	2 4
ポータブル吸引器	6	全自動小型高圧蒸気滅菌器	2
血中酸素飽和度測定器	7	オゾン発生装置等	4 式
終末呼気炭酸ガス濃度測定器	4	静脈採血注射モデル	4
高度救命処置訓練用人形	6	マイクロベント人工呼吸器	3
心肺蘇生訓練用人形（大人）	6	喉頭鏡	1 0 式
心肺蘇生訓練用人形（上半身モデル）	2 6	気管挿管練習モデル	1
心肺蘇生訓練用人形（小児）	2	AED トレーナー	2 0 式
分娩介助訓練用人形	1	心肺蘇生訓練用人形（ベビー）	7
人工呼吸用モデル人形	1 0		

津波・大規模風水害対策車積載資機材（総務省消防庁無償貸与車両積載）			
水陸両用バギー	1	トランシーバー	5
ドライスーツ	10	携帯無線機（アナログ無線）	2
ライフジャケット	20	スローバッグ	5
胴付長靴	20	ガイドベルト	5
高圧洗浄機	1	フローティングロープ	3
フローティング担架	1	救助用伸縮棒（レスキュースティック）	1
スケッドストレッチャー	1	船外機付舟艇	2

予 防 関 係 資 機 材 等			
熱電対温度計	1	16ミリ映写機	1
炭化深度計	1	オーバーヘッドプロジェクター	1
火災感知試験器	1	オートキャビン	1
配線試験器	1	防火フィルム	24
自動式配電試験器	1	住宅用火災警報器展示パネル	1
建築内装材総合試験器	1	一眼レフカメラ	1
石油燃焼爆発試験器	1	デジタルカメラ	2
ノズル圧力測定器	2	モバイルプリンター	2
レベル計	1	LEDライト	3
磁粉探傷器	1	地震発生説明装置	1
超音波厚さ計	2	液状化実験装置	1
溶接ゲージ	1		
銘板打刻装置	1		
引火点測定器	3		

13. 応援協定等締結状況

令和6年4月1日現在

締 結 先	締 結 内 容	締 結 年 月 日
名古屋海上保安部	火 災 業 務	昭和50年12月10日
桑名市（三重県）	火 災 ・ 救 急 業 務	平成3年11月18日
名古屋 市	火 災 ・ 救 急 業 務	平成6年5月30日
県下市町村及び同消防一部事務組合	大規模な災害等における火災・救急業務	平成15年4月1日
桑名市（三重県）	火 災 ・ 救 急 救 助 業 務 （ 高 速 道 路 ）	平成19年11月21日
海部地方市町村及び同消防一部事務組合	火 災 ・ 救 急 救 助 業 務	平成23年4月27日
県下高速道路	火 災 ・ 救 急 救 助 業 務	平成28年3月10日
愛 知 県	愛知県防災行政用無線の運用及び管理	平成14年12月1日
愛 知 県	夜間照明設備の保管	平成16年2月26日
愛 知 県	愛知県広域災害・救急医療情報システム	平成16年6月1日
愛 知 県	消火薬剤の保管等	平成21年3月9日
津島市・愛西市・蟹江町・海部東部消防組合	海部地方消防通信指令事務協議会の設置に関する協議書	平成25年2月4日
愛西市・蟹江町・海南病院	医師派遣用自動車運用	平成25年6月1日
愛知県津島保健所	感染症患者等の移送	平成31年4月1日
名港海運株式会社	災害による浸水時における緊急一時避難施設としての施設使用	令和元年12月23日

海南土建株式会社 株式会社佐藤工務店 株式会社中島水道 大栄建設株式会社 有限会社黒宮造園	消防活動における重機等による支援	令和 2 年 4 月 1 7 日
愛 知 県	航空機を用いた市町村等の 消 防 支 援	令 和 4 年 4 月 1 日
公益財団法人日本海員掖済会 名古屋掖済会病院、 蟹江町、津島市、愛西市、 海 部 東 部 消 防 組 合	病院救急車及びドクターカーの 運 用 に 関 す る 協 定	令 和 5 年 5 月 2 6 日
三井住友信託銀行株式会社 大和ハウス・ロパティマネジメント株式会社	浸水時における緊急一時避難施設 としての使用に関する協定	令和 5 年 1 2 月 2 6 日

※ 締結年月日は、再締結した場合は、その日付を記載

予 防 事 務 統 計

1. 防火対象物状況（自動火災報知設備以上）

令和6年3月31日現在

（単位：棟）

区 分			弥富市	飛島村	合 計
1	イ	劇 場 、 映 画 館 等	1	1	2
	ロ	公 会 堂 、 集 会 場	1 8	6	2 4
2	イ	キャバレー、カフェー等	1		1
	ロ	遊 技 場 等	4		4
	ハ	風 俗 営 業 等			
	ニ	カラオケボックス等	1		1
3	イ	待 合 、 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店	1 0	1	1 1
4		店 舗 等	2 5	3	2 8
5	イ	旅 館 等	7		7
	ロ	共 同 住 宅 等	1 3 9	4	1 4 3
6	イ	病 院 、 診 療 所 等	1 6		1 6
	ロ	老人短期入所施設等	1 7	2	1 9
	ハ	老人デイサービスセンター等	2 8	4	3 2
	ニ	幼稚園、特別支援学校	1		1
7		小、中、高等学校等	3 9	2	4 1
8		図 書 館 、 美 術 館 等			
9	イ	蒸 気 、 熱 気 浴 場 等			
	ロ	公 衆 浴 場			
10		車両又は船舶の発着場	2		2
11		神 社 、 寺 院 等	4		4
12	イ	工 場 、 作 業 場	2 5 6	2 3 5	4 9 1
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等			
13	イ	自動車車庫、駐車場	5	4	9
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉 庫	2 3 7	3 1 7	5 5 4
15		そ の 他 の 事 業 場	3 9	4 1	8 0
16	イ	複合防火対象物（特定）	4 2	1 5	5 7
	ロ	〃 （非特定）	1 0	2	1 2
17		重 要 文 化 財	1	1	2
計			9 0 3	6 3 8	1, 5 4 1

2. 用途別建築物同意数状況

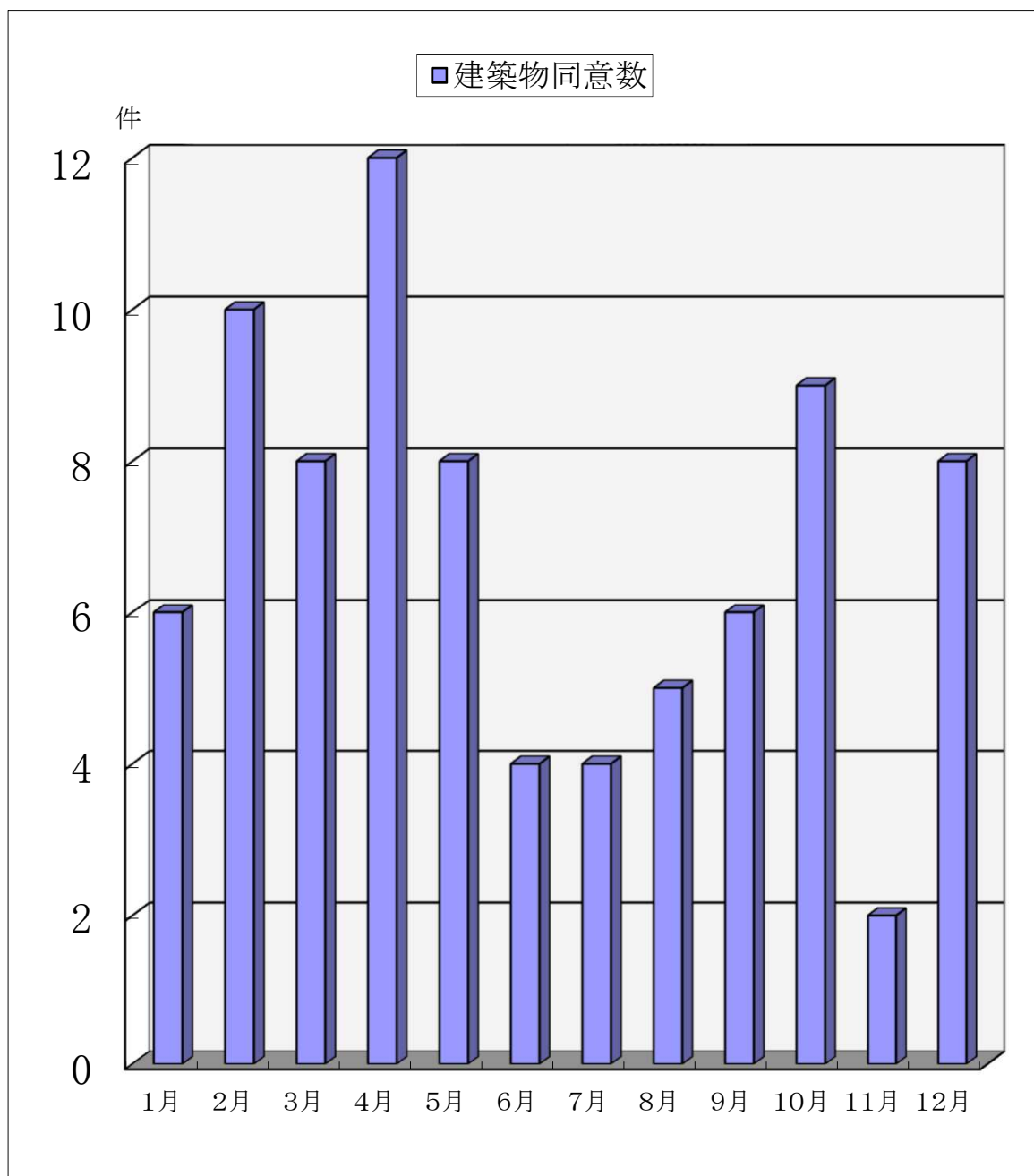
令和5年中

区 分			弥富市	飛島村	合 計
1	イ	劇 場 、 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 、 集 会 場			
2	イ	キャバレー、カフェー等			
	ロ	遊 技 場 等			
	ハ	風 俗 営 業 等			
	ニ	カラオケボックス等			
3	イ	待 合 、 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店	1		1
4		店 舗 等	1		1
5	イ	旅 館 等			
	ロ	共 同 住 宅 等	8	2	10
6	イ	病 院 、 診 療 所 等	1		1
	ロ	老人短期入所施設等	1		1
	ハ	老人デイサービスセンター等	1		1
	ニ	幼 稚 園、特別支援学校			
7		小、中、高等学校等	1		1
8		図 書 館 、 美 術 館 等			
9	イ	蒸 気 、 熱 気 浴 場 等			
	ロ	公 衆 浴 場			
10		車両又は船舶の発着場	1		1
11		神 社 、 寺 院 等			
12	イ	工 場 、 作 業 場	1	5	6
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等			
13	イ	自動車車庫、駐車場	3		3
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉 庫	13	12	25
15		そ の 他 の 事 業 場	12	6	18
16	イ	複合防火対象物（特定）			
	ロ	〃（その他）	2	1	3
17		重 要 文 化 財			
		住 宅 等	6	2	8
		工 作 物			
		納屋・物置・農業用倉庫等	2		2
		計	54	28	82

3. 月別建築物同意数状況

令和5年中

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
建築物同意数	6	10	8	12	8	4	4	5	6	9	2	8	82



4. 工事別建築物同意数状況

令和5年中

市村名 工事区分		弥 富 市	飛 島 村	計
新	築	4 0	1 6	5 6
増	築	1 4	1 1	2 5
改	築			
移	転			
用 途 変 更			1	1
大 規 模 な 修 繕				
そ の 他				
計		5 4	2 8	8 2

5. 危険物施設数状況

令和6年3月31日現在

市村名 施設区分		弥 富 市	飛 島 村	計
製 造 所			1	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	5 7	4 3	1 0 0
	屋外タンク貯蔵所	1 7	8	2 5
	(準 特 定)			
	(特 定)			
	屋内タンク貯蔵所	7	5	1 2
	地下タンク貯蔵所	2 9	1 1	4 0
	簡易タンク貯蔵所		1	1
	移動タンク貯蔵所 (国 際 輸 送 用)	1 6 3 (9 5)	1 8 5 (1 1 0)	3 4 8 (2 0 5)
	屋 外 貯 蔵 所	4	6	1 0
	給 油 取 扱 所 (自 家 用)	6 8 (5 2)	4 8 (3 7)	1 1 6 (8 9)
取 扱 所	販 売 取 扱 所			
	一 般 取 扱 所	2 8	3 1	5 9
	移 送 取 扱 所			
計		3 7 3	3 3 9	7 1 2

6. 危険物製造所等規制事務処理状況

令和5年中

事務処理区分 施設区分		許可		完成検査		仮使用 承認
		設置	変更	設置	変更	
製造所						
貯蔵所	屋内貯蔵所	4	5	1	4	2
	屋外タンク貯蔵所	1		1		
	屋内タンク貯蔵所	1				
	地下タンク貯蔵所	1		2		
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所 (国際輸送用)	10 (8)	8 (0)	10 (8)	9 (0)	
	屋外貯蔵所		1	1	1	1
取扱所	給油取扱所 (自家用)	3 (3)	4 (1)	3 (3)	4 (1)	4 (1)
	販売取扱所					
	一般取扱所	4	3	5	1	1
	移送取扱所					
計		24	21	23	19	8

仮貯蔵・仮取扱	仮貯蔵	仮取扱	計
	4, 845	4	4, 849

7. 検査済証交付状況

令和5年中

市 村 名		弥 富 市	飛 島 村	計	
検 査 区 分					
完 成 検 査	設 置	1 2	1 1	2 3	
	変 更	9	1 0	1 9	
完 成 検 査 前 検 査	タンク検査	水 張	9	9	
		水 圧	5	5	
	溶 接 部				
	基 礎 ・ 地 盤				
保 安 検 査					
計		3 5	2 1	5 6	

8. 危険物関係手数料収入額

令和5年度中

手 数 料 種 別			金 額 (円)
許 可	設 置		8 1 4, 0 0 0
	変 更		4 8 4, 0 0 0
完 成 検 査			6 4 2, 5 0 0
完 成 検 査 前 検 査	水 張		1 8, 0 0 0
	水 圧		4 4, 0 0 0
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱			2 6, 2 2 7, 8 0 0
仮 使 用			4 3, 2 0 0
再 交 付 (申 請)			6, 0 0 0
少 量 タ ン ク 検 査			1 8, 0 0 0
計			2 8, 2 9 7, 5 0 0

47

47

製造所等の別 区 分 (指定数量の倍数別)		総 数	製 造 所	貯 蔵 所										取 扱 所																				
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	準 特 定	特 定	屋 内 貯 蔵 所	地 下 貯 蔵 所	簡 易 貯 蔵 所	移 動 貯 蔵 所	国 際 輸 入	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	セ ル フ	自 家 用	セ ル フ	そ の 他	販 売 取 扱 所		一 般 取 扱 所	吹 付 塗 業	装 作 業	洗 浄 作 業	焼 入 作 業 等	ボ イ ラ ー 等 費	充 て ん	詰 替 え	油 圧 装 置 等	切 削 装 置 等	熱 媒 油	循 環 装 置 等	蓄 電 池 設 備 等	移 送 取 扱 所
																			第 一 種	第 二 種														
対象危険物施設総数		712	1	100	25			12	40	1	348	205	10	116	10	89		2			59					13	2	2		1			1	
弥 富 市	合 計	373		57	17			7	29		163	95	4	68	7	52		1			28					8	2	1		1				
	5倍以下	73		17	5			2	13		21			2		2					13					4	1							
	5倍を超え 10倍以下	36		5	5			2	3		8	3	1	3		3					9					2	1	1		1				
	10倍を超え 50倍以下	90		8	7			3	11		13	1	1	43		41		1			4					2								
	50倍を超え 100倍以下	44							1		35	11		8		6																		
	100倍を超え 150倍以下	76		8							68	65																						
	150倍を超え 200倍以下	4							1		1			2																				
	200倍を超え 1,000倍以下	42		12							17	15	1	10	7						2													
	1,000倍を超え 5,000倍以下	4		3									1																					
	5,000倍を超え 10,000倍以下																																	
10,000倍を超えるもの	4		4																															
飛 島 村	合 計	339	1	43	8			5	11	1	185	110	6	48	3	37		1			31					5		1					1	
	5倍以下	49		16	1			4	5	1	13		2	1		1					6					3							1	
	5倍を超え 10倍以下	33		7	2			1	1		7		1								14					1								
	10倍を超え 50倍以下	73	1	6	2				3		18	2		35		34					8					1		1						
	50倍を超え 100倍以下	30			3				2		20	2		4	2		1				1													
	100倍を超え 150倍以下	101		1							98	79		2																				
	150倍を超え 200倍以下	4		2									1								1													
	200倍を超え 1,000倍以下	32		1							24	22		6	3						1													
	1,000倍を超え 5,000倍以下	9		4							5	5																						
	5,000倍を超え 10,000倍以下	2											2																					
10,000倍を超えるもの	6		6																															

10. 危険物関係各種届出状況

令和5年中

施設区分 届出等の種類	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所	移送取扱所	計
予防規程認可申請								1	5	2			8
危険物保安監督者選任（解任）届		4	4		3				15	6			32
危険物取扱者選任（解任）届				2	7			1	1	6			17
譲渡引渡届		2					11		2				15
品名、数量又は指定数量の倍数変更届		6					4	2		2			14
資料提出		14		2	3			2	18	11			50
設置者の氏名等変更届	1	9	3	4	9	1	48	3	21	12			111
休止（再開）届		1							2				3
廃止届		2	1		2	1	21		1				28
危険作業開始届										10			10
軽微な工事届		1	1		1		354	1	15	6			379
その他		1					2		2				5
計	1	40	9	8	25	2	440	10	82	55			672

1 1 . 消防関係各種届出状況

令和 5 年中

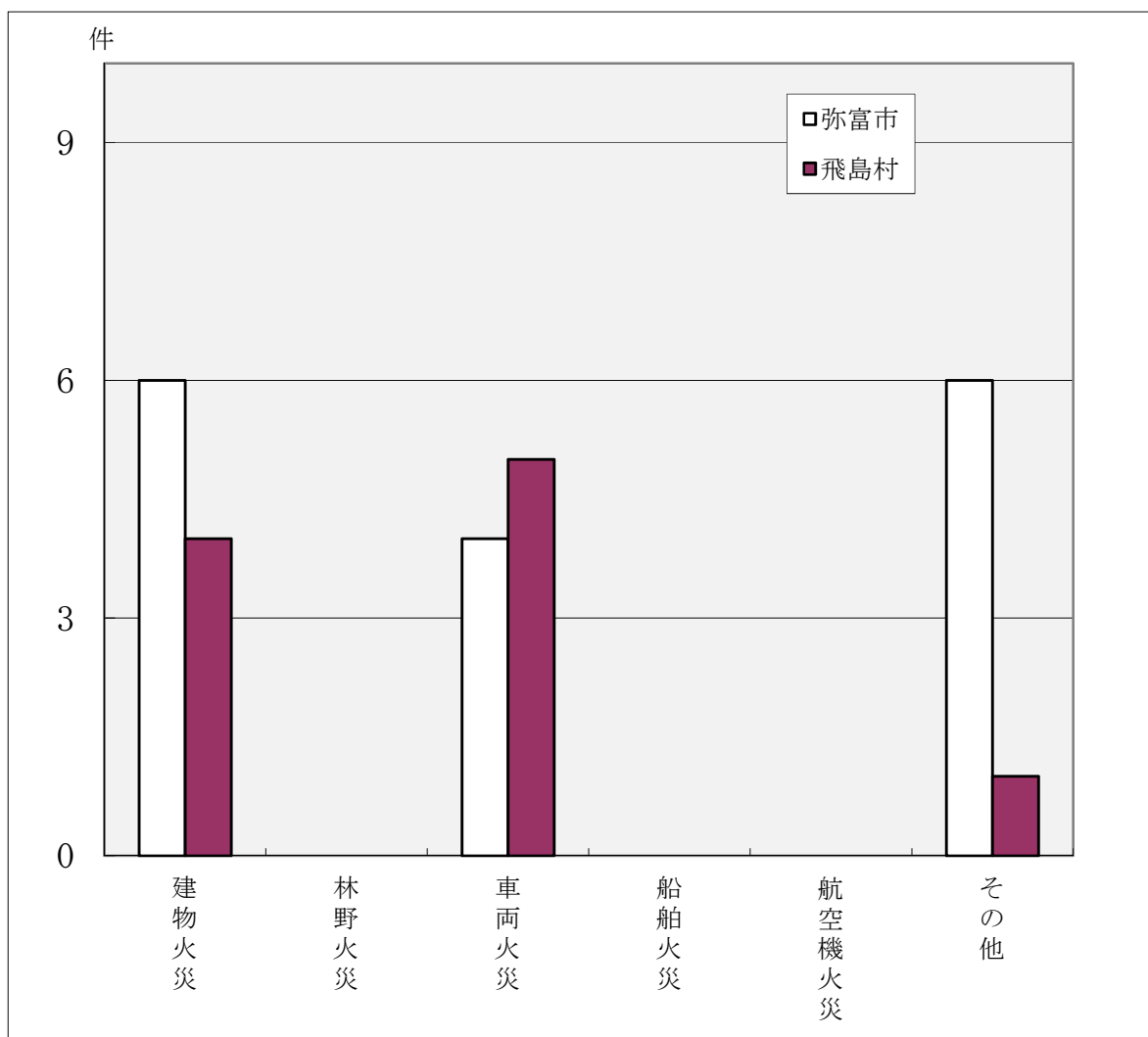
届 出 種 類	受 理 件 数
防 火 管 理 者 選 任 解 任 届	1 2 8
防 火 対 象 物 工 事 計 画 届	8 2
建 築 物 同 意 通 知 書	2 3 1
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 書	1 4 8
消 防 用 設 備 等（特殊消防用設備等）設置届出書	1 6 6
消 防 用 設 備 等（特殊消防用設備等）点検結果報告書	8 0 2
消 防 計 画 作 成（変 更）届 出 書	6 5
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	4 0
炉 ・ ボ イ ラ ー 等 の 設 置 届	1 5
急速充電・燃料電池発電・発電・変電・蓄電池設備設置届	4 3
催 物 開 催 届	8
露 店 等 開 設 届	2
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届	2 0 3
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 い 届	1 6 1
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 い 届	1, 7 9 4
消 防 訓 練 実 施 届	2 8 2
火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 又 は 火 災 を 発 生 する お そ れ の あ る 行 為 の 届	3 0
水 道 断 水 届	1 3
道 路 工 事 届	1 0 3

火災統計

1. 火災件数

令和5年中

火災種別 区 分	建物 火災	林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空機 火災	そ の 他	計
弥 富 市	6		4			6	16
飛 島 村	4		5			1	10
計	10		9			7	26
本 署 管 轄	3		2			5	10
北 分 署 管 轄	4		3			2	9
南出張所管轄	3		4				7



2. 市村別火災状況

令和5年中

市 村 別 区 分		弥 富 市	飛 島 村	合 計
火 災 種 別	建 物 火 災	6	4	10
	林 野 火 災			
	車 両 火 災	4	5	9
	船 舶 火 災			
	航 空 機 火 災			
	そ の 他 の 火 災	6	1	7
	(枯 草 火 災)	(3)	(0)	(3)
計		16	10	26
損 害 額 (千 円)		5,740	40,180	45,920
災 害 状 況	り 災 棟 数	8	8	16
	り 災 世 帯 数	5	2	7
	建物焼損面積 (㎡)	74	408	482
	建物焼損表面積 (㎡)	6	1	7
	車 両 焼 損 台 数	5	5	10
	死 者			
	負 傷 者	4		4
覚 知 状 況	1 1 9 番	10	8	18
	一 般 加 入 電 話	5		5
	駆 け 付 け		1	1
	事 後 聞 知	1	1	2
	そ の 他			

3. 月別出火原因状況

令和5年中

月 別 原 因 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
放火・放火の疑い					1								1
たばこ								1					1
排気管													0
溶接機・切断機													0
こんろ						1		1					2
たき火													0
電気機器						1	1		1	1		1	5
そ 摩 擦			1										1
の 火 の 粉				1				1					2
他 そ の 他	2				1		2	3					8
不 明	1		1			1		2				1	6
計	3	0	2	1	2	3	3	8	1	1	0	2	26



4. 過去5年間の出火原因ワースト5の推移

年 順位	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
第1位	摩 擦	放火・疑放火	こ ん ろ ストーブ たき火	放火・疑放火	電気機器
第2位	こ ん ろ 排 気 管 火 の 粉 交通機関内配線	たばこ 火 の 粉		電 気 機 器	こ ん ろ 火 の 粉
第3位			排 気 管 たばこ 火 の 粉		
第4位		こ ん ろ 排 気 管		たばこ 放火・疑放火	たばこ 放火・疑放火 摩 擦
第5位					

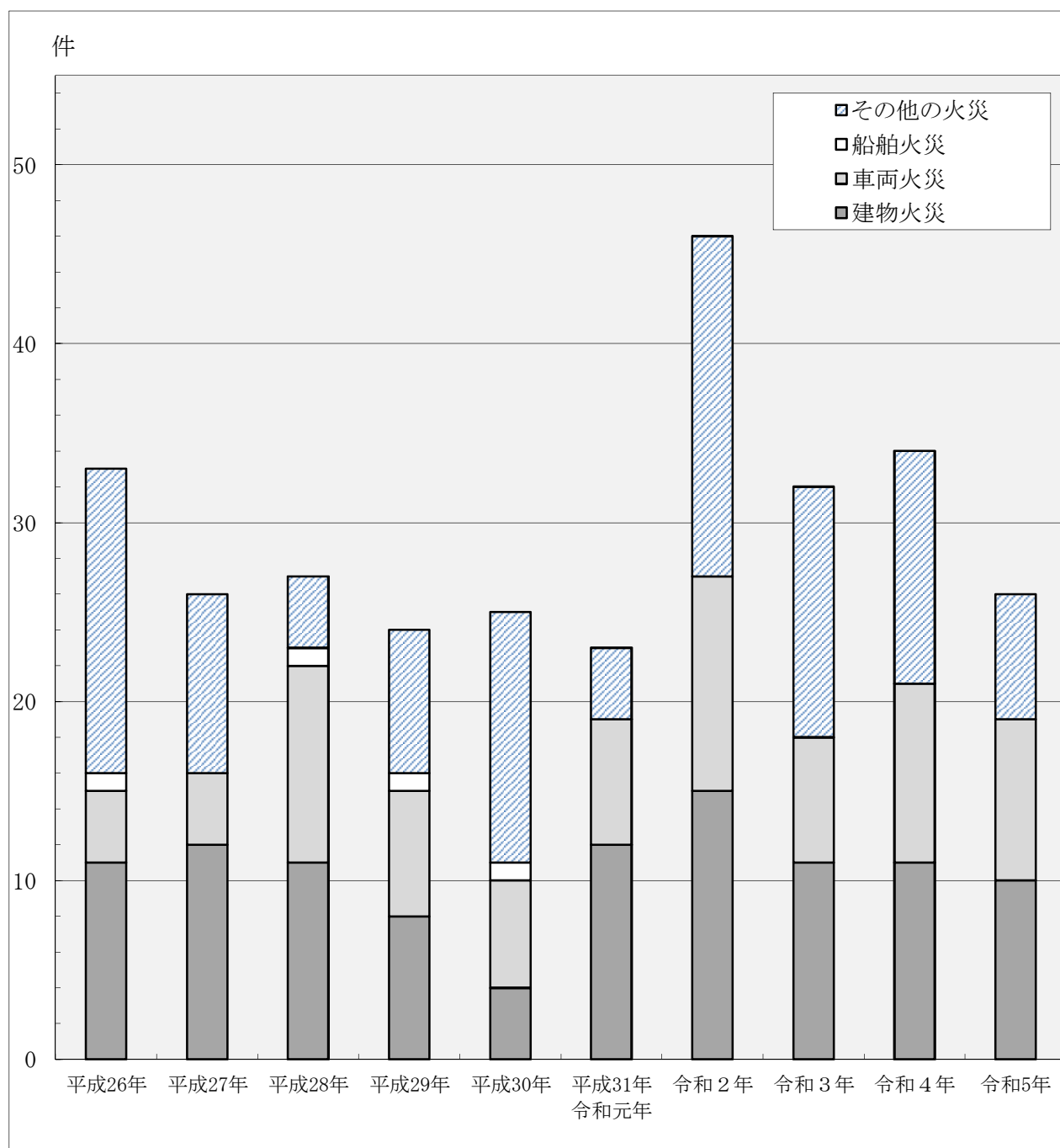
5. 警戒出動状況

令和5年中

種 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
漏 油	2		3	1	2		2	3	3	2	2	4	24
たき火指導	4	7	2		5	3	4	2	2	5	12	6	52
異 臭													
現場なし（いたずら）													
自動火災報知器発報	1					1		1					3
救 急 支 援	54	40	45	43	39	35	42	42	48	39	44	44	515
先 行 救 急	5	2	4	7	2	2	8	10	8	1	5	2	56
そ の 他				1			2	2		3		5	13
計	66	49	54	52	48	41	58	60	61	50	63	61	663

6. 過去10年間の火災の推移（火災種別）

年 別 種 別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
建 物 火 災	11	12	11	8	4	12	15	11	11	10
車 両 火 災	4	4	11	7	6	7	12	7	10	9
船 舶 火 災	1		1	1	1					
その他の火災	17	10	4	8	14	4	19	14	13	7
計	33	26	27	24	25	23	46	32	34	26



救急・救助統計

1. 救急出動件数

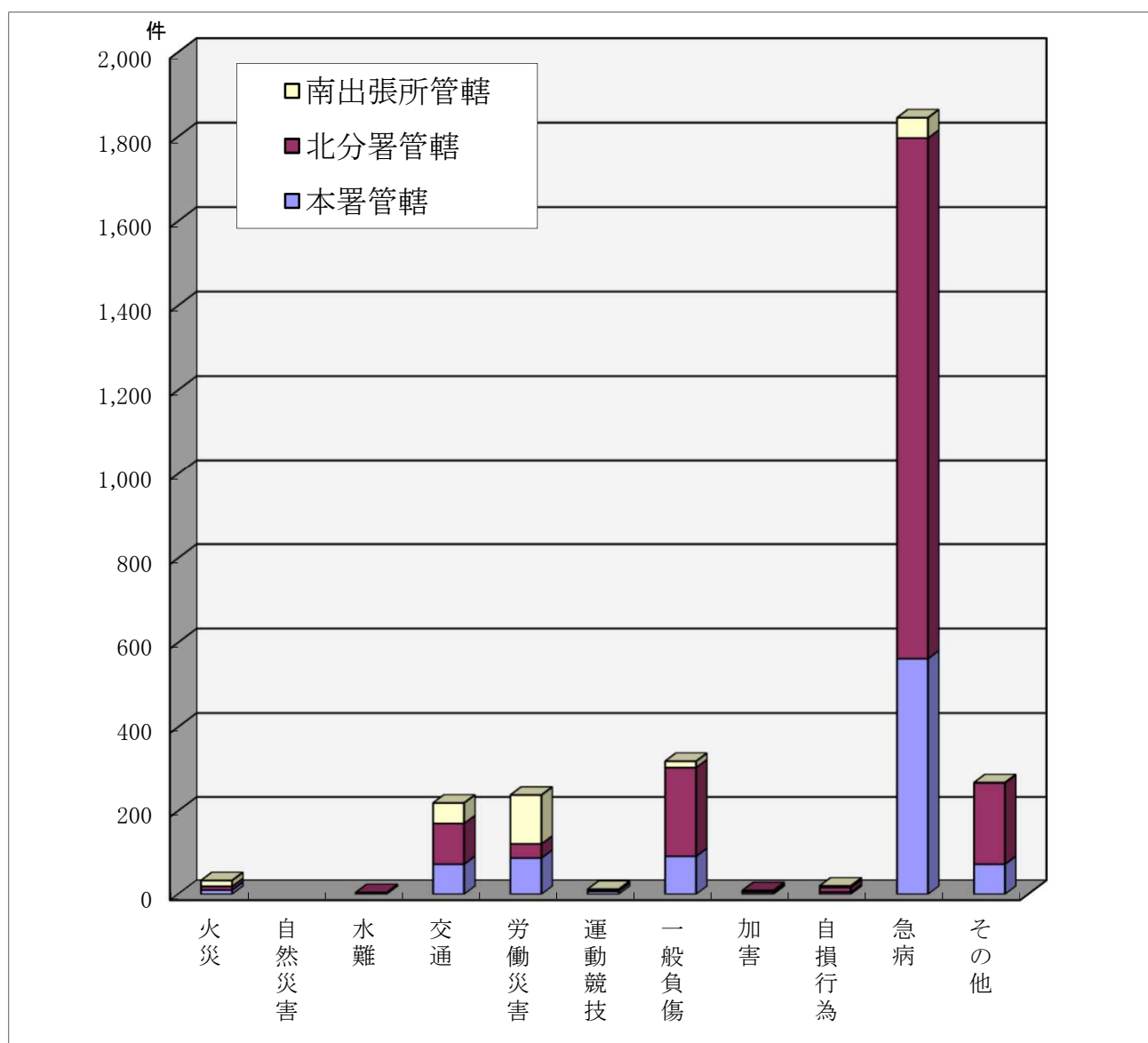
令和5年中

種別 区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
本署管轄	10		1	72	87	7	91	5	5	562	72	912
北分署管轄	9		3	98	34	4	213	4	11	1,235	195	1,806
南出張所管轄	14			49	117	1	15		4	48	1	249
管外				8	2		7		3	30	60	110
計	33		4	227	240	12	326	9	23	1,875	328	3,077

弥富市	19		4	157	131	9	282	6	14	1,636	249	2,507
飛島村	14			62	107	3	37	3	6	209	19	460
管外				8	2		7		3	30	60	110

上記の内

高速道路				15	2					2		18
ドクターカー				1	13		1		1	38	1	55



2. 月別及び市村別救急出動件数

令和5年中

種 別 \ 月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災		1	1	3	4	2	2	5	4	2	2	3	4	33
自 然 災 害														
水 難						2	1		1					4
交 通		16	18	20	11	15	9	27	30	24	18	19	20	227
労 働 災 害		19	19	18	15	19	18	26	28	23	19	23	13	240
運 動 競 技		1				1		2		3	2		3	12
一 般 負 傷		27	27	23	35	21	27	25	20	26	24	34	37	326
加 害		1	1	1	1			2	1	1	1			9
自 損 行 為			1	1	2	2	3	6		3	4	1		23
急 病		146	128	136	148	151	162	203	195	166	132	133	175	1,875
そ の 他	転 院 搬 送	22	17	31	25	20	25	23	31	27	25	18	21	285
	医 師 搬 送													0
	資 機 材 搬 送	1	1	5	1	2	6	1	1	1	6	3	1	29
	そ の 他		3	1			2	1	2	2	2		1	14
計		234	216	239	242	235	255	321	313	278	235	234	275	3,077

弥 富 市	193	176	184	203	203	195	250	260	228	185	191	239	2,507
飛 島 村	34	32	44	35	24	46	61	44	43	31	36	30	460
管 外	7	8	11	4	8	14	10	9	7	19	7	6	110

上 記 の 内

高 速 道 路	1		3	1	1	1	2	2	6	1			18
---------	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	----

3. 月別及び市村別搬送人員状況

令和5年中

月 別 種 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災								3						3
自 然 災 害														
水 難						1								1
交 通		15	19	17	13	14	8	28	29	25	17	19	19	223
労 働 災 害		19	19	16	15	19	18	24	28	23	17	22	13	233
運 動 競 技		1				1		2		3	2		3	12
一 般 負 傷		24	27	23	33	21	26	25	20	26	20	33	35	313
加 害		1	1		1			3	1	1	1			9
自 損 行 為					2	2	3	5		2	2	1		17
急 病		127	119	129	142	143	156	195	183	153	126	129	160	1,762
そ の 他	転 院 搬 送	21	17	31	25	20	25	23	31	27	26	18	21	285
	医 師 搬 送													
	資 機 材 搬 送													
	そ の 他									1	2			3
計		208	202	216	231	221	236	308	292	261	213	222	251	2,861

弥 富 市	172	166	173	197	191	184	241	243	213	171	183	221	2,355
飛 島 村	31	29	37	31	24	44	58	41	41	30	35	25	426
管 外	5	7	6	3	6	8	9	8	7	12	4	5	80

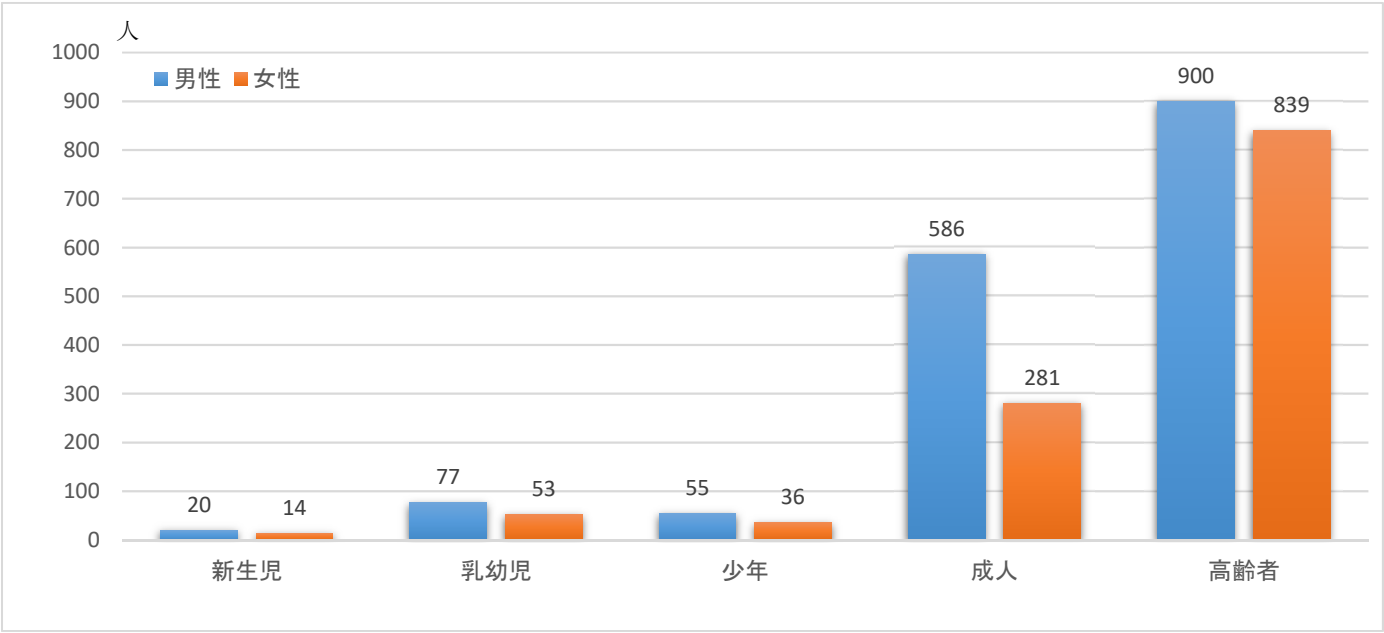
上 記 の 内

高 速 道 路	1		2	1	1		2	2	7	1			17
---------	---	--	---	---	---	--	---	---	---	---	--	--	----

4. 年齢区分・性別救急搬送状況

令和5年中

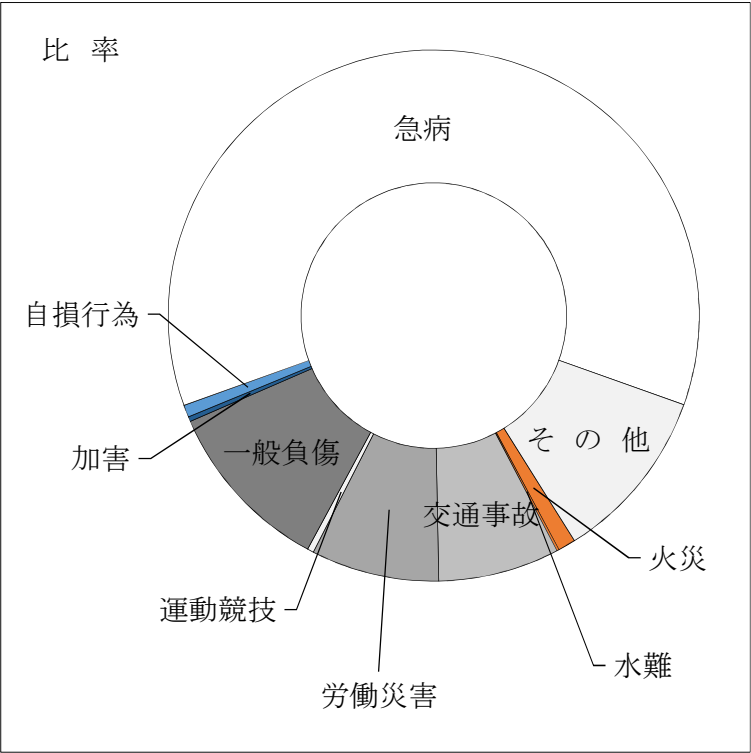
性別 \ 年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
	(28日以内)	(7才未満)	(18才未満)	(65才未満)	(65才以上)	
男性	20	77	55	586	900	1,638
女性	14	53	36	281	839	1,223
計	34	130	91	867	1,739	2,861



5. 事故別救急出動状況

令和5年中

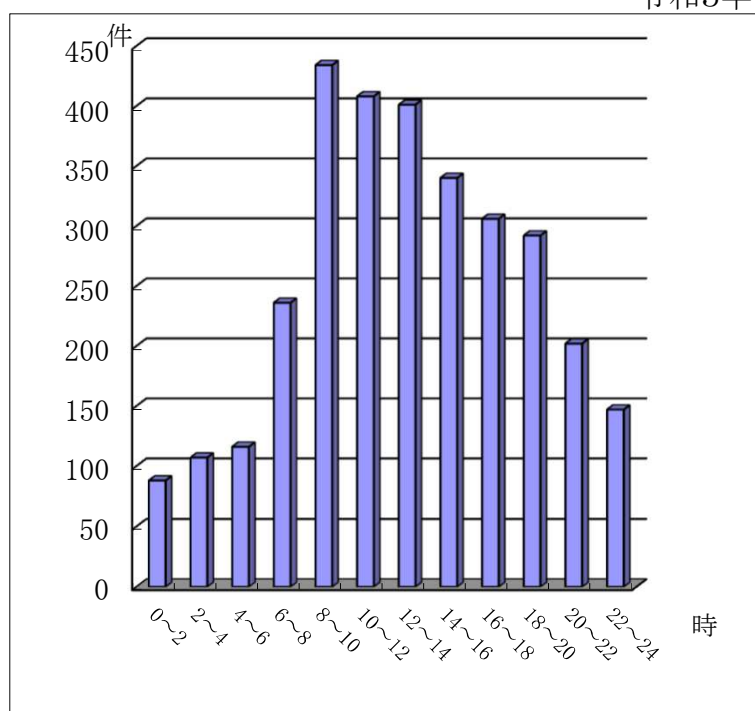
種別	件数	比率(%)
火災	33	1.1
自然災害	0	0.0
水難	4	0.1
交通事故	227	7.4
労働災害	240	7.8
運動競技	12	0.4
一般負傷	326	10.6
加害	9	0.3
自損行為	23	0.7
急病	1,875	60.9
その他	328	10.7
計	3,077	100.0



6. 時間別救急出動状況

令和5年中

時間別	件数	比率(%)
0～2	88	2.9
2～4	107	3.5
4～6	116	3.8
6～8	236	7.7
8～10	434	14.1
10～12	408	13.3
12～14	401	13.0
14～16	340	11.0
16～18	306	9.9
18～20	292	9.5
20～22	202	6.6
22～24	147	4.8
計	3,077	100

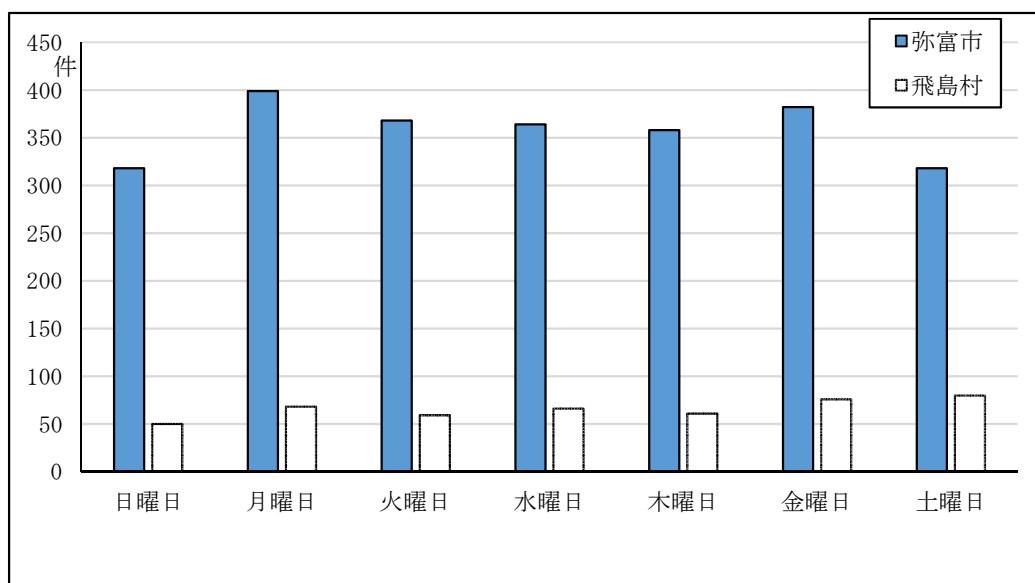


7. 曜日別救急出動状況

令和5年中

曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計
弥富市	318	399	368	364	358	382	318	2,507
飛島村	50	68	59	66	61	76	80	460
計	368	467	427	430	419	458	398	2,967

管外	5	16	18	19	14	16	22	110
----	---	----	----	----	----	----	----	-----



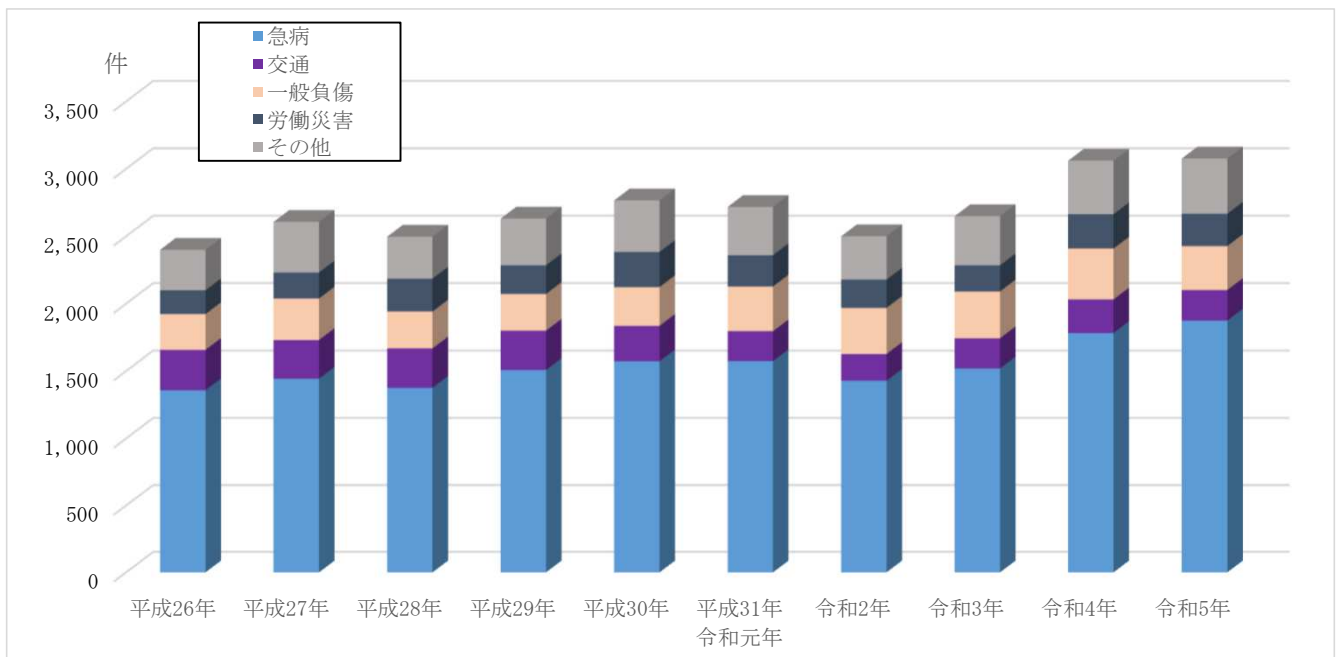
8. 救急隊員が行った応急処置等の状況

令和5年中

事故種別 応急処置等	急 病	交 通 事 故	労 働 災 害	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
対 象 人 員	1,760	223	228	312	335	2,858
止 血 処 置	3	1	3	8	1	16
固 定 処 置	7	73	17	16	7	120
人 工 呼 吸	1	2	1	0	0	4
心 肺 蘇 生	45	1	6	3	3	58
酸 素 吸 入	399	14	15	17	123	568
気 道 確 保	75	5	8	4	10	102
保 温	21	3	2	3	7	36
被 覆	7	17	34	46	3	107
在 宅 療 法	146	1	0	13	0	160
除 細 動	3	0	4	1	0	8
輸 液	9	2	3	2	0	16
血 圧 測 定	1,675	221	228	302	280	2,706
聴 診 器 聴 取	140	6	3	5	6	160
酸素飽和度測定	1,714	222	228	309	321	2,794
心 電 図 測 定	1,642	183	216	278	270	2,589
気 管 挿 管	0	0	0	0	0	0
薬 剤 投 与	7	0	2	1	0	10
血 糖 測 定	6	1	1	0	0	8
ブドウ糖投与	0	0	0	0	0	0
心肺停止前静脈路確保	0	1	0	0	0	1
そ の 他	138	4	12	6	19	179
計	6,038	757	783	1,014	1,050	9,642

9. 過去10年間の救急出動状況

年別 種別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
急病	1,358	1,444	1,376	1,508	1,573	1,574	1,428	1,520	1,783	1,875
交通	300	287	292	292	263	222	199	224	249	227
一般負傷	265	308	274	272	287	332	342	347	377	326
労働災害	177	193	244	213	261	232	210	194	255	240
その他	300	375	311	346	382	358	321	364	397	409
計	2,400	2,607	2,497	2,631	2,766	2,718	2,500	2,649	3,061	3,077



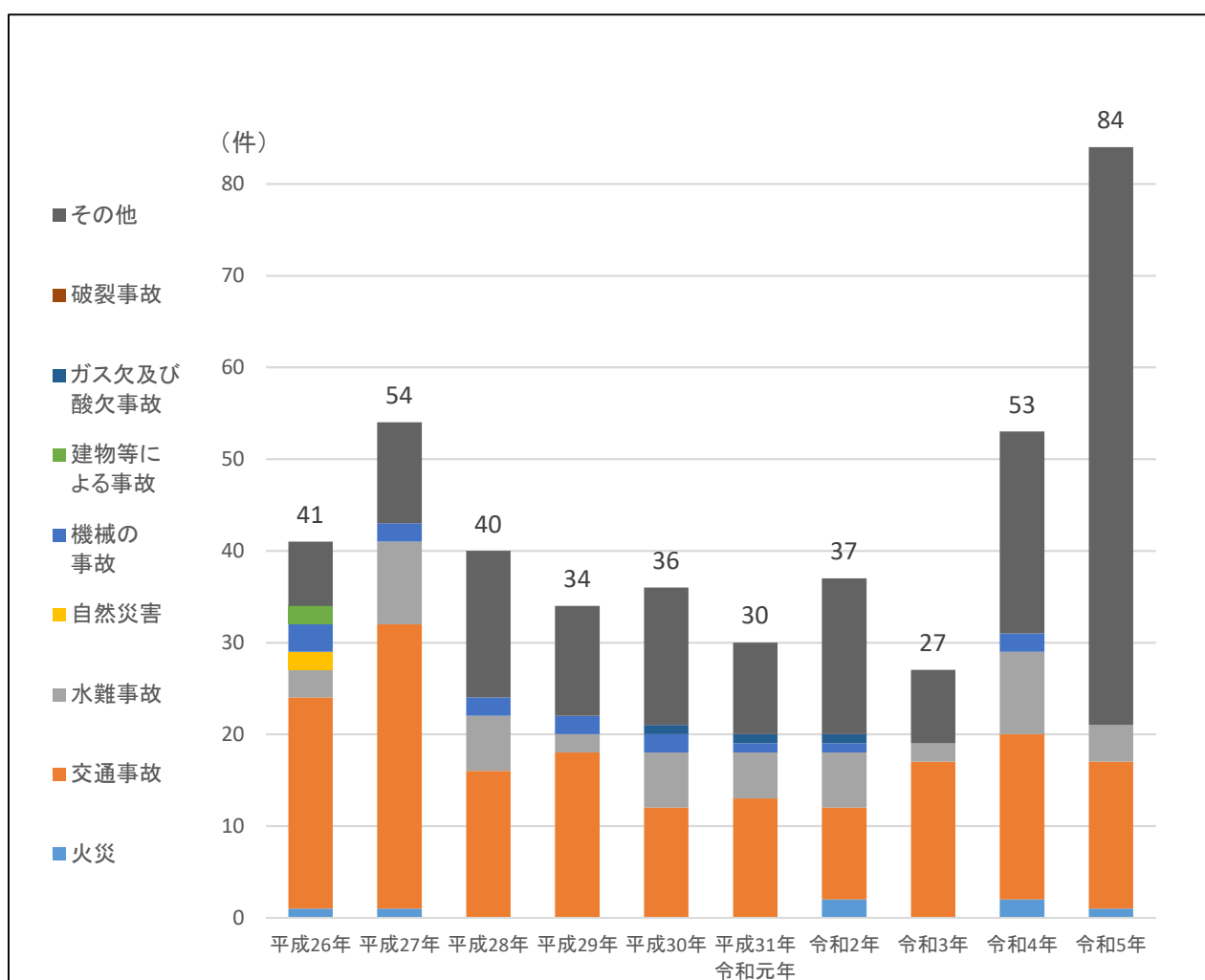
10. 救助活動状況

令和5年中

事故種別		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械の事故	建物等による事故	ガス欠及び酸欠事故	破裂事故	その他	計
全体	出動件数	1	16	4						63	84
	活動件数	1	7	2						15	25
	救助人員	2	8	2						11	23
弥富市	出動件数	1	9	4						44	58
	活動件数	1	4	2						13	20
	救助人員	2	5	2						9	18
飛島村	出動件数		4							19	23
	活動件数		2							2	4
	救助人員		2							2	4
管外	出動件数		3								3
	活動件数		1								1
	救助人員		1								1

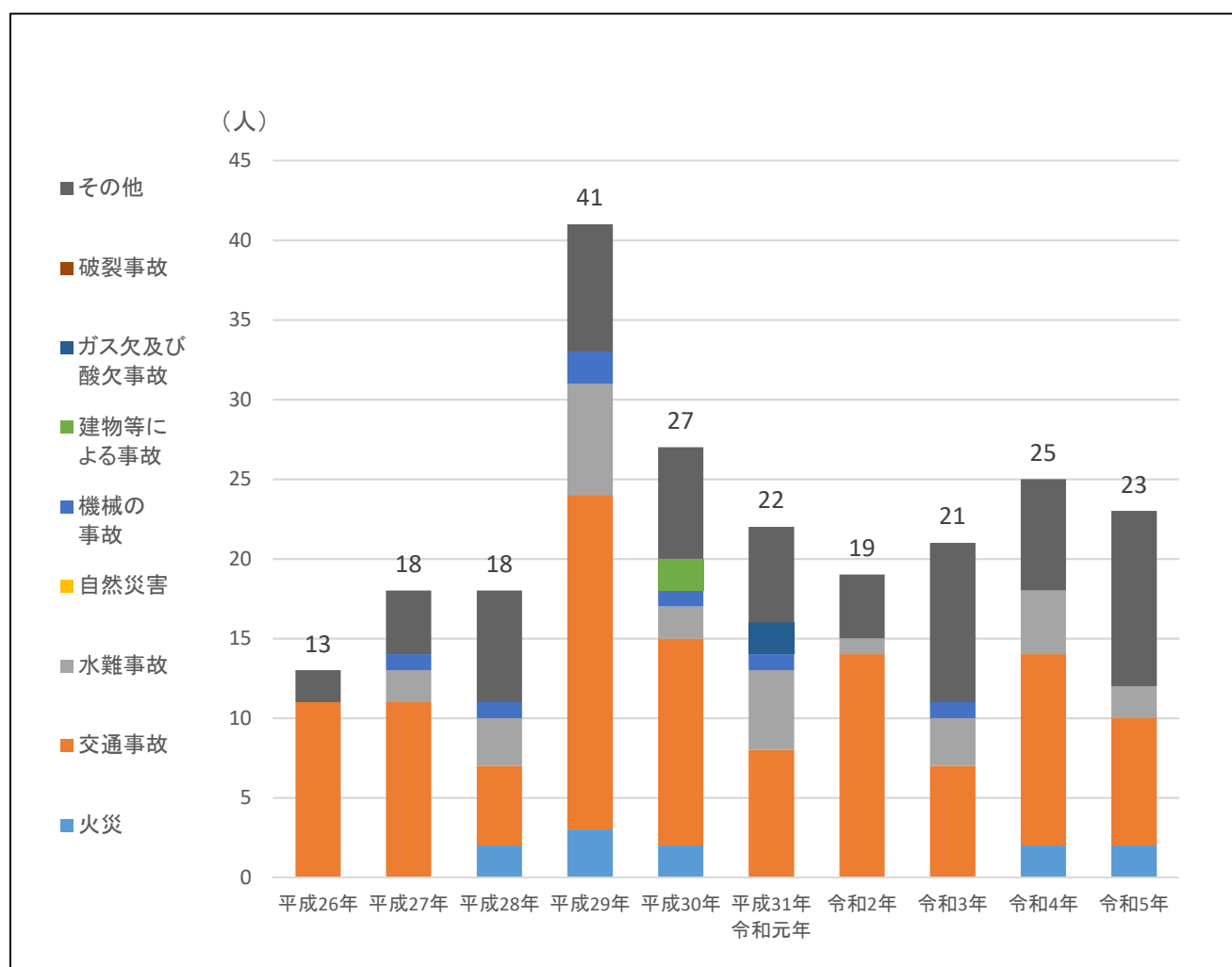
1 1. 過去10年間の救助出動件数

種別 \ 年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
火災	1	1					2		2	1
交通事故	23	31	16	18	12	13	10	17	18	16
水難事故	3	9	6	2	6	5	6	2	9	4
自然災害	2									
機械の 事故	3	2	2	2	2	1	1		2	
建物等による事故	2									
ガス欠及び 酸欠事故					1	1	1			
破裂事故										
その他	7	11	16	12	15	10	17	8	22	63
計	41	54	40	34	36	30	37	27	53	84



12. 過去10年間の救助人員

種別 \ 年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
火災			2	3	2				2	2
交通事故	11	11	5	21	13	8	14	7	12	8
水難事故		2	3	7	2	5	1	3	4	2
自然災害										
機械の 事故		1	1	2	1	1		1		
建物等による事故					2					
ガス欠及び 酸欠事故						2				
破裂事故										
その他	2	4	7	8	7	6	4	10	7	11
計	13	18	18	41	27	22	19	21	25	23



1 3. 救命講習実施状況

年 実施状況	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
回 数	49	31	37	33	18	16	35	30
修了者数	821	539	664	596	192	108	301	344

＊「普及員講習」を含みません。

1 4. 講習別の実施状況

令和5年中

講 習 種 別	実 施 回 数	修 了 者 数
普通救命講習（Ⅰ）	27	323
普通救命講習（Ⅱ）	0	0
普通救命講習（Ⅲ）	1	5
上 級 救 命 講 習	2	16
普 及 員 講 習	1	4

1 5. 緊急消防援助隊出動状況

災 害 名 出 動 場 所 出 動 期 間	出動車両	出動 回数	出動 延人員	活 動 内 容
福井県豪雨災害 福井県福井市西木田地区 平成16年7月18日、19日	資機材1号車 (舟艇積載)	1 回	5 名	孤立している住民の 救出活動
東日本大震災 宮城県亘理郡亘理町 平成23年3月12日から 平成23年4月17日まで	タンク3号車 広報車	8 回	3 7 名	要救助者の検索活動 亘理地区行政事務組 合消防本部にて火災 対応
御嶽山噴火災害 長野県木曽郡大滝村 平成26年10月4日から8日まで 平成26年10月14日、15日	救助工作車	2 回	1 0 名	要救助者の検索活動
平成30年7月豪雨 岡山県倉敷市真備町 平成30年7月6日から12日まで	津波・大規模風水 害対策車 広報車	2 回	1 0 名	孤立している住民の 救出活動
熱海市土石流災害 静岡県熱海市伊豆山地区 令和3年7月10日から19日まで	津波・大規模風水 害対策車 広報車	3 回	1 5 名	要救助者の検索活動

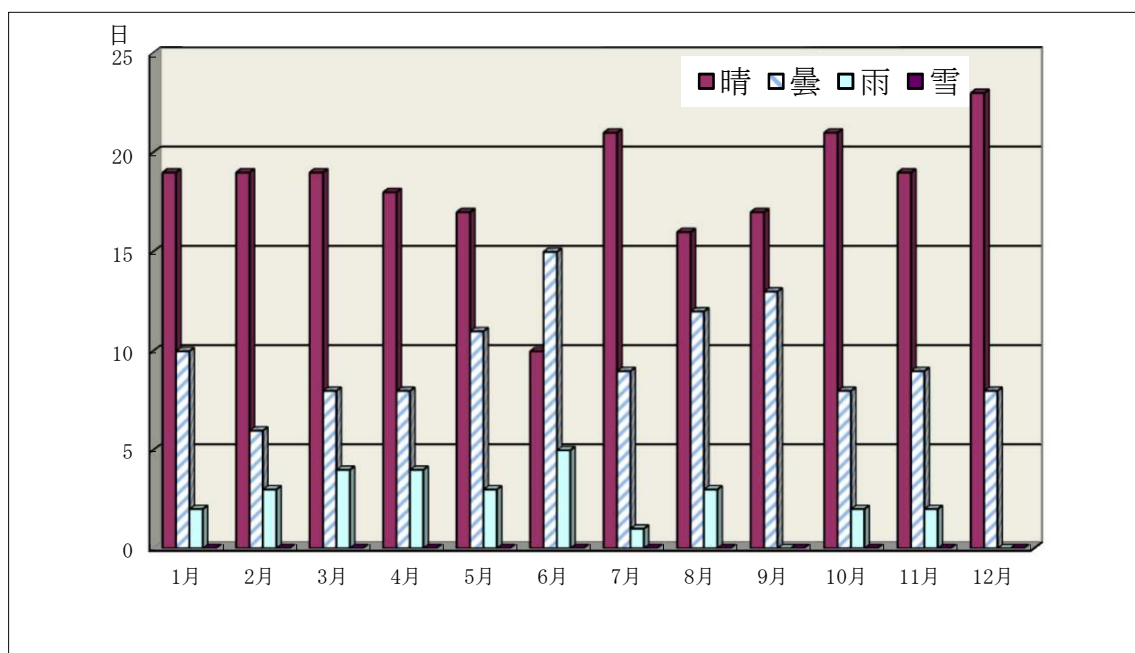
気 象 統 計

1. 月別天候状況

令和5年中

月 天候	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
晴	19	19	19	18	17	10	21	16	17	21	19	23
曇	10	6	8	8	11	15	9	12	13	8	9	8
雨	2	3	4	4	3	5	1	3	0	2	2	0
雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(消防署観測)

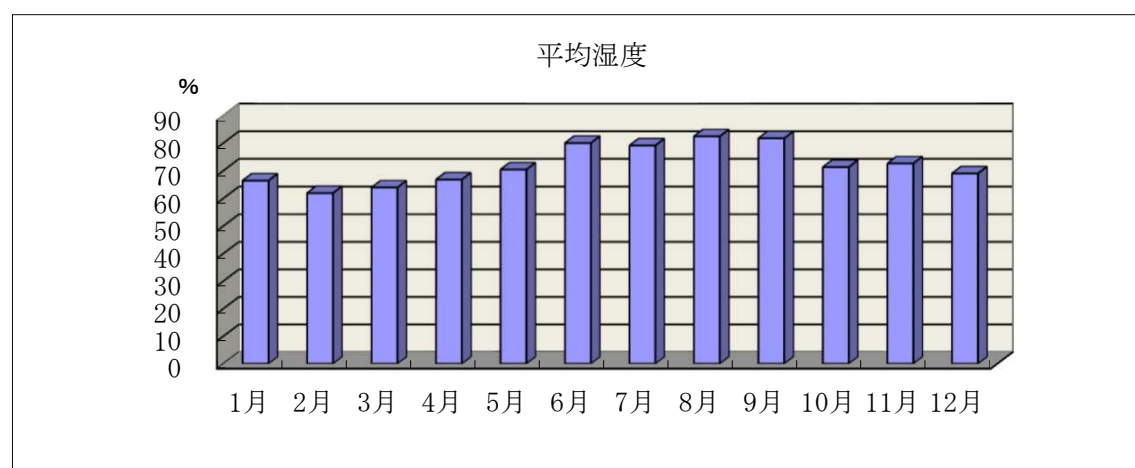


2. 月別湿度状況

令和5年中

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均湿度	66.4	61.9	63.9	66.8	70.4	80.0	79.1	82.4	81.7	71.3	72.6	69.0

(消防署観測)

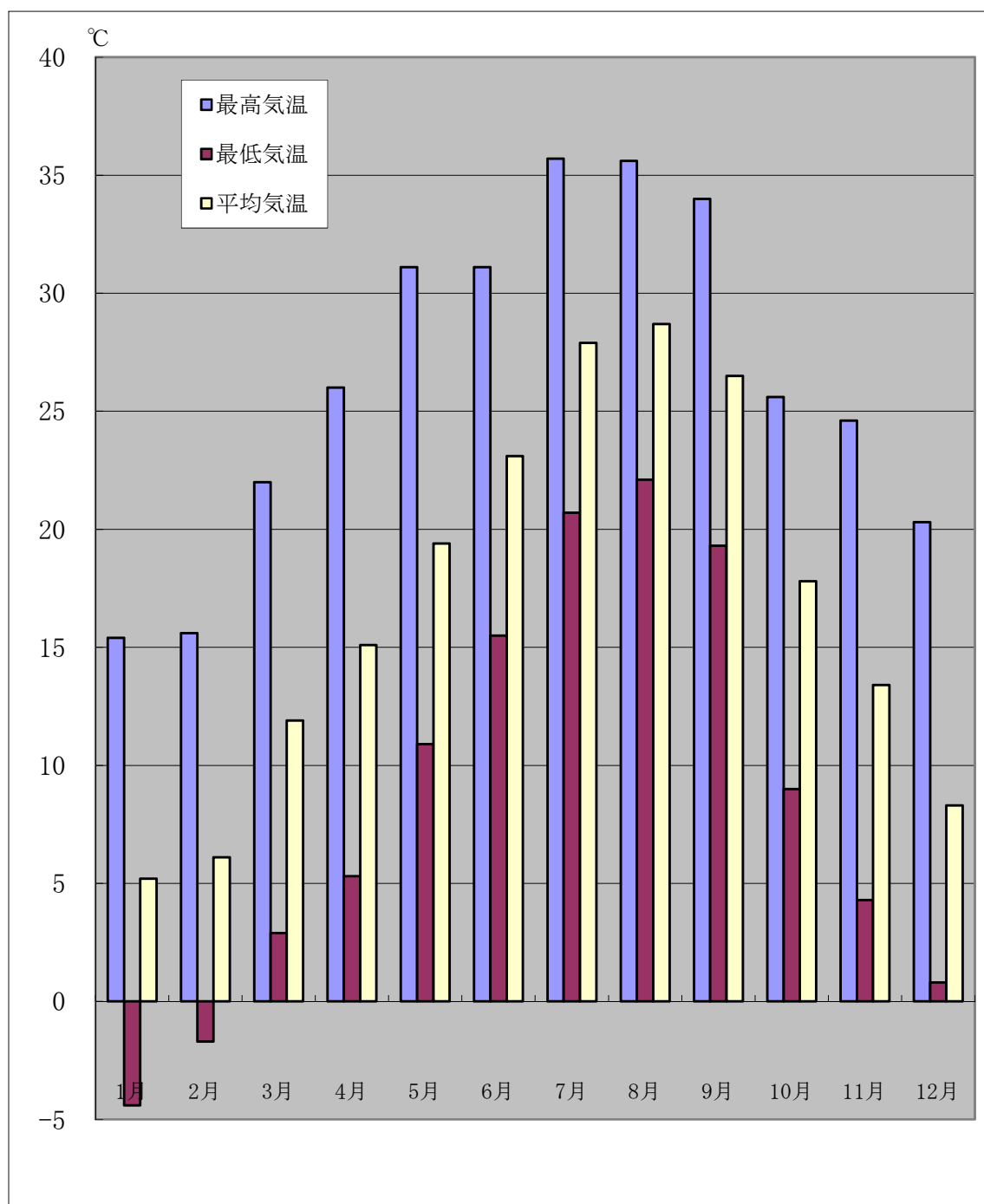


3. 月別気温状況

令和5年中

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温	15.4	15.6	22.0	26.0	31.1	31.1	35.7	35.6	34.0	25.6	24.6	20.3
最低気温	-4.4	-1.7	2.9	5.3	10.9	15.5	20.7	22.1	19.3	9.0	4.3	0.8
平均気温	5.2	6.1	11.9	15.1	19.4	23.1	27.9	28.7	26.5	17.8	13.4	8.3
気温差	19.8	17.3	19.1	20.7	20.2	15.6	15.0	13.5	14.7	16.6	20.3	19.5

(消防署観測)



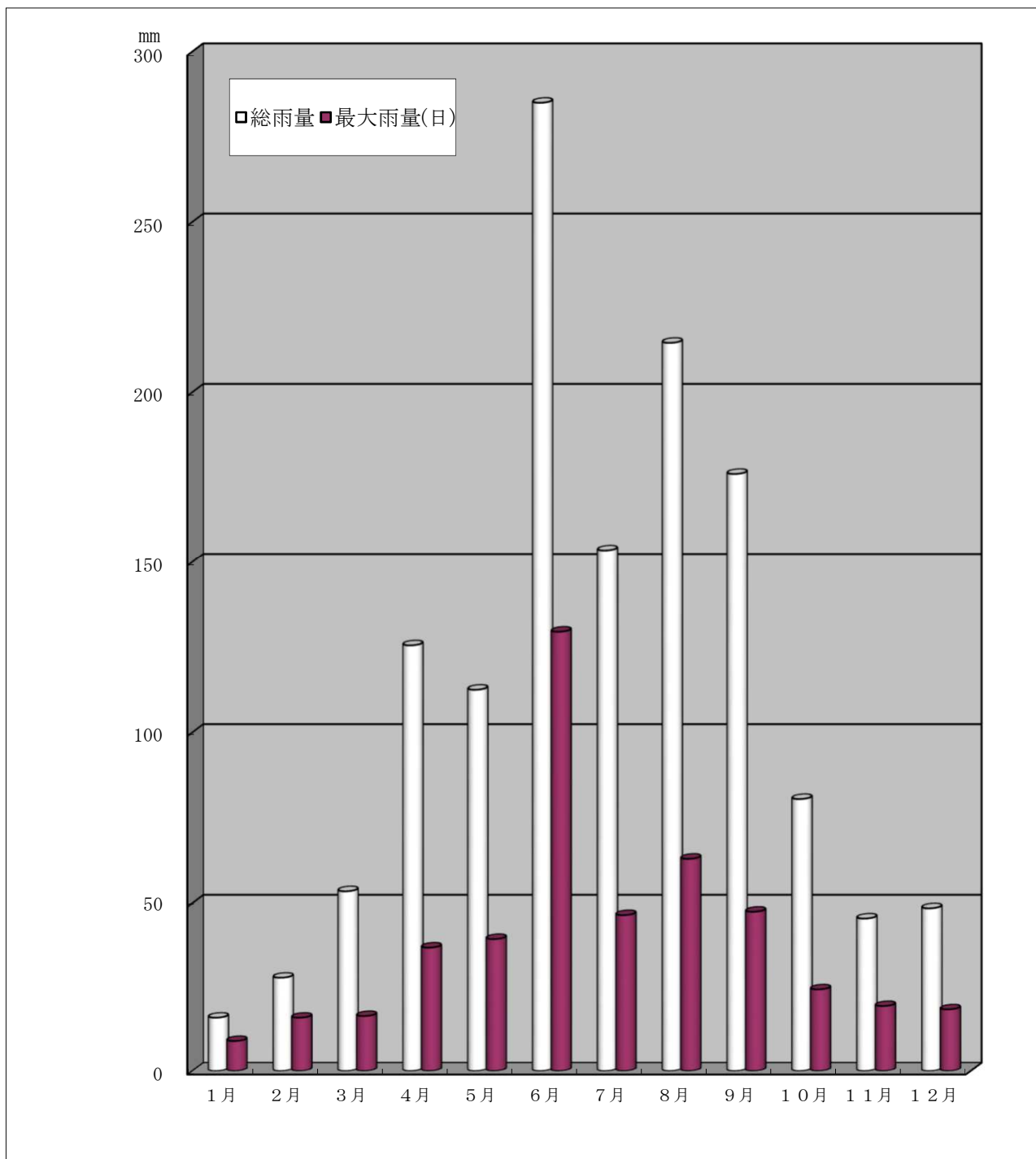
4. 月別雨量状況

令和5年中

月 雨 量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 雨 量	16.0	28.0	53.5	125.5	112.5	285.0	153.5	214.5	176.0	80.5	45.5	48.5
最大雨量(日)	9.0	16.0	16.5	37.0	39.5	129.5	46.5	63.0	47.5	24.5	19.5	18.5

年間総雨量 1339.0ミリ

(消防署観測)



5. 月別最大風速状況

令和5年中

区 分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最大風速	21.9	21.0	20.1	21.7	21.4	18.7	23.1	22.0	12.5	18.5	18.2	19.4
平均風速	2.9	3.6	2.9	3.6	3.2	2.6	2.5	3.9	2.4	2.9	3.0	2.6

年間平均風速 3.0m/s

(消防署観測)

6. 地震発生状況

令和5年中

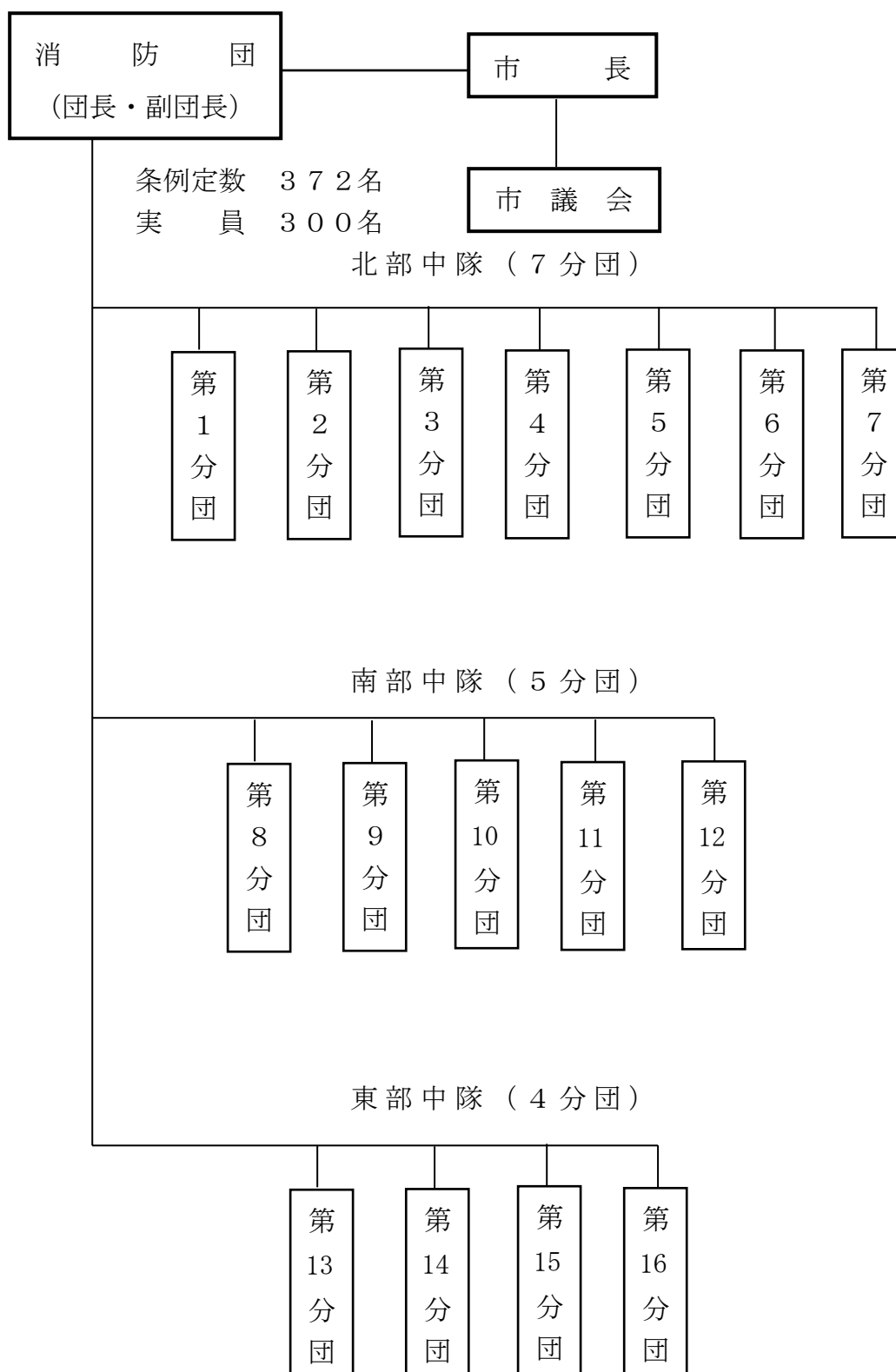
地 震 発 生 日	発 生 時 間	地 動 加 速 度 (ガ ル)	最大震度階
令和5年 4月21日	17時16分	4	2
令和5年 8月12日	3時 9分	4	2
令和5年10月23日	13時49分	6	2

(消防署観測)

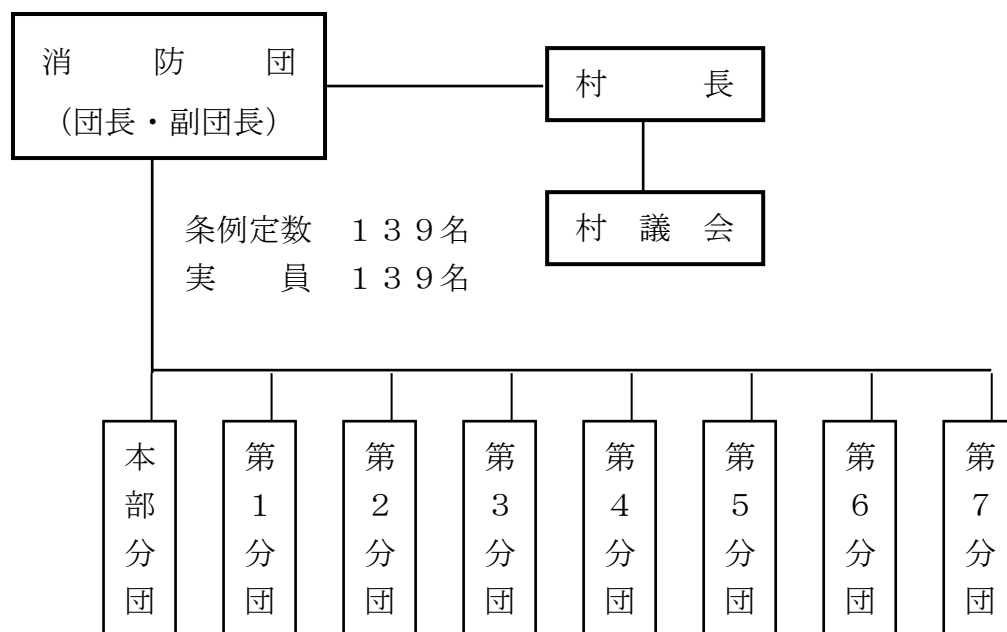
消防団・消防水利

1. 消防団組織

弥富市消防団



飛島村消防団



2. 消防団現勢

団 名	区 分	定 員	実 員	人 員 内 訳							機 械		
	階 級 等 分 団 名			団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	水 槽 付 ポン プ 車	普 通 ポン プ 車	小 型 動力 ポン プ 付 積 載 車
弥 富 市 消 防 団	合 計	372	300	1	3	16	16	16	32	216			16
	団 本 部	4	4	1	3								
	第 1 分 団	23	17			1	1	1	2	12			1
	第 2 分 団	23	14			1	1	1	2	9			1
	第 3 分 団	23	15			1	1	1	2	10			1
	第 4 分 団	23	19			1	1	1	2	14			1
	第 5 分 団	23	17			1	1	1	2	12			1
	第 6 分 団	23	23			1	1	1	2	18			1
	第 7 分 団	23	20			1	1	1	2	15			1
	第 8 分 団	23	23			1	1	1	2	18			1
	第 9 分 団	23	22			1	1	1	2	17			1
	第 10 分 団	23	11			1	1	1	2	6			1
	第 11 分 団	23	14			1	1	1	2	9			1
	第 12 分 団	23	20			1	1	1	2	15			1
	第 13 分 団	23	21			1	1	1	2	16			1
	第 14 分 団	23	22			1	1	1	2	17			1
	第 15 分 団	23	20			1	1	1	2	15			1
	第 16 分 団	23	18			1	1	1	2	13			1

団 名	区 分	定 員	実 員	人 員 内 訳							機 械		
	階 級 等 分 団 名			団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	水 槽 付 ポン プ 車	普 通 ポン プ 車	小 型 動力ポン プ付積載 車
飛 島 村 消 防 団	合 計	139	139	1	2	8	8	16		104			8
	団 本 部	3	3	1	2								
	本 部 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 1 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 2 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 3 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 4 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 5 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 6 分 団	17	17			1	1	2		13			1
	第 7 分 団	17	17			1	1	2		13			1

3. 消防水利

区 分		弥 富 市	飛 島 村	計
消 火 栓	公 設	1, 2 6 1	2 1 3	1, 4 7 4
防 火 水 槽	有 蓋 (耐 震 性)	2 5 (6)	2 8 (4)	5 3 (1 0)
	無 蓋	2 5		2 5
そ の 他		1 1		1 1
計		1, 3 2 2	2 4 1	1, 5 6 3

※ 消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）に基づいて設置されている消防水利の数を掲載しています。

※ 名古屋港管理組合が設置した消防水利の数を除いています。

消 防 一 般

1. 少年消防クラブ

令和6年4月1日現在

名 称	ク ラ ブ 員 数	指 導 者 数
十 四 山 中 学 校 少 年 消 防 ク ラ ブ	57名	2名
飛 島 中 学 校 少 年 消 防 ク ラ ブ	54名	2名
弥 富 中 学 校 少 年 消 防 ク ラ ブ	20名	2名
弥 富 北 中 学 校 少 年 消 防 ク ラ ブ	20名	2名
計	151名	8名

昭和49年 8 月 1 日 十四山中学校、飛島中学校、弥富中学校 少年消防クラブ結成

昭和53年12月27日 十四山中学校、弥富中学校少年消防クラブ 愛知県支部から竿頭綬を授与

昭和54年 4 月 1 日 弥富北中学校 少年消防クラブ結成

昭和54年12月27日 飛島中学校少年消防クラブ 愛知県支部から竿頭綬を授与

昭和57年12月27日 弥富北中学校少年消防クラブ 愛知県支部から竿頭綬を授与

昭和58年12月27日 十四山中学校少年消防クラブ 愛知県支部から表彰旗を授与

昭和61年11月16日 飛島中学校少年消防クラブ 愛知県支部から表彰旗を授与

平成 元 年 6 月 2 日 十四山中学校少年消防クラブ 日本防火協会から優良少年消防クラブとして表彰される。

平成 元 年12月26日 弥富中学校少年消防クラブ 愛知県支部から表彰旗を授与

平成 2 年12月26日 弥富北中学校少年消防クラブ 愛知県支部から表彰旗を授与

平成13年 3 月27日 飛島中学校少年消防クラブ 全国少年消防クラブ運営指導協議会から表彰楯を授与

平成18年11月26日 十四山中学校少年消防クラブ 愛知県消防協会長から表彰状及び竿頭綬を授与
飛島中学校少年消防クラブ
弥富中学校少年消防クラブ
弥富北中学校少年消防クラブ

2. 消防組合年間行事

令和5年中

1月	組合出初式 正副管理者会議 組合議会臨時会	7月	職員技術発表会 正副管理者会議 防火教室（管内保育所）
2月	組合議会定例会 マラソンベンチプレス大会	8月	少年消防クラブ一日入署
3月	春季全国火災予防運動 防火診断（一人暮らし老人宅防火診断） 組合議会臨時会	9月	職員採用候補者試験 組合議会定例会
4月		10月	甲種・乙種防火管理講習
5月	海部南部危険物安全協会定期総会 組合議会臨時会 新庁舎起工式	11月	秋季全国火災予防運動 消防ひろば 職員体力測定 職員健康診断
6月	危険物安全週間 海部南部危険物安全協会危険物災害予防 車両広報パレード	12月	組合議会臨時会 救急技術発表会 海部南部消防組合連絡調整会議 年末特別警戒

3. 訓練指導状況

令和5年中

月別 訓練区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
消防団	回数	5	8	9	14	15	21	18	8	9	12	5		124
	参加人員	95	142	441	361	397	568	483	305	236	230	272		3,530
	職員数	15	26	36	60	60	76	82	48	90	100	38		631
B F C	回数								2					2
	参加人員								124					124
	職員数								35					35
教育関係機関	回数	9	10	3	1	6	14	10		2	2	7	14	78
	参加人員	1,031	888	103	34	166	136	264		145	508	152	1,639	5,066
	職員数	47	60	22	8	40	89	52		10	26	52	118	524
民間事業所	回数	3	6	5	3	6	7	5	6	6	10	11	6	74
	参加人員	8	44	27	8	47	145	69	47	113	256	299	52	1,115
	職員数	9	26	19	11	19	32	21	24	20	47	52	20	300
その他の機関	回数	2	4	3	2	2	2	10	3	7	4	10	4	53
	参加人員	6	130	50	37	26	150	132	70	790	217	200	278	2,086
	職員数	8	21	12	15	9	9	35	16	28	26	52	20	251
計	回数	19	28	20	20	29	44	43	19	24	28	33	24	331
	参加人員	1,140	1,204	621	440	636	999	948	546	1,284	1,211	923	1,969	11,921
	職員数	79	133	89	94	128	206	190	123	148	199	194	158	1,741

注) B F C＝少年消防クラブ